資料１

前回のおさらいと今後の議論の展開について

１　前回のおさらい

（１）自治協議会制度発足から１０年が経過して

★現在の課題

〇住民のコミュニティ意識の希薄化
〇活動を担う人材の不足
〇地域の負担感

★これから検討すべき中長期的な課題

◎地域住民が主体的に取り組むまちづくりの実現

東日本大震災などにより，地域における「支え合い」「助け合い」といった「共助」の力をより高めていくまちづくりが必要となるとともに，自治協議会制度発足から 10 年が経過し，校区毎のコミュニティも成熟してきており，地域住民が主体的に取り組むまちづくりの実現に向け，次のステップについての検討が求められている。

◎超高齢社会に向けた対応

地域住民の高齢化・単身化が進む中で，高齢者の孤立化や孤独死などの課題に対応するためには，高齢者の見守りなどについて地域の力が重要となってきている。

また，地域全体で高齢者等を支える仕組みを考えていくうえで，コミュニティの基礎的単位である「自治会・町内会」の役割などについても検討が求められている。

（２）主な検討テーマ

◎地域のまちづくりや，課題解決を自らの手で図っていく**「地域が主体のまちづくり」の実現**
◎**超高齢社会に対応する「地域の絆づくり」**の推進

（３）委員の主な意見等

別紙１のとおり

２　第２回検討委員会以降の議論の展開について（平成２６年度）（案）

第２回

（検討テーマ）

★超高齢社会への対応

第３回

主に意見の集約

（検討テーマ）

★地域住民が主体的に

取り組むまちづくりの実現

第４回以降

議論の展開

（検討テーマ）第２回，第３回の意見を踏まえた今後の方向性

（項目）◎超高齢社会に対応する，地域が主体のまちづくり

◎地域コミュニティと行政との共働のあり方

中間とりまとめ

※将来のあるべき姿について，大きな方向性をまとめる

※中間報告以降（平成27年度）は，具体的に「地域に期待すること」，「行政に期待すること」について議論し，最終的な提言をまとめる

別紙1

第1回検討委員会における主な委員意見等

自治協議会制度の「成果」について		○自治協議会制度になって10年、住民が自ら考え、事業を展開していく現制度は定着しており、校区主体の事業をはじめ、様々な地域活動にアイデアと工夫が見られるなど、非常に成果があったと思っている。
		○町世話人制度時代と比べると、地域コミュニティはしっかり出来てきたと考えている。
自治協議会制度の「課題」について	地域の負担感に関すること	○地域の負担が増え、役員の担い手がないという大きな課題を抱えており、後任のためにも十分検討すべきである。
		○校区の会長としての業務については、行政とのやり取りは2倍、3倍にも増えている。昔みたいな名誉職ではなく、かなりの激務である。地域の人たちもそれを分かっており、次の担い手を確保することは大変厳しい状況だ。
		○自治協議会だけでなく、どの団体もそうだが、何か事業がある場合、会長でなくても対応できるものについては、副会長や他の役員で分担する形で負担解消を図れないか。特に自治会は、自治会長が一人で受けられてという部分がすごく多いように思う。お一人に負担がかからないような工夫が必要である。
	手当に関すること	○現在、自治協議会の会長がもらっている報酬単価では少なすぎて、とてもやってられないのではないか。ここが一番のポイントになると思っている。
		○高齢者支援を地域でやるとなると、負担感が大きいと思うが、昔のように個人の報償に戻ると、みんなその人任せになり、地域自治ではなくなる。やはり地域の活動は、地域住民が一体となってやらなければいけない。全国的に見てもそうだが、お金は自治組織にまとめて入って、それを皆が納得の上で報償費として払っていくという形でないと、自治は成り立たないのではないか。
		○報償に関して、横並びの一線で金額を設定するというのは、非常に難しいだろう。
		○手当についてだが、いろいろな調整を全部自ら行い、校区に補助金やお願いごとを下していく立場として、自分たちの経費を自分で確保するというのは難しい。本当に、なんらかの仕組みが必要であり、今結論は出ないが、ここの部分はしっかり検討すべき課題だと思う。
		○市の補助金からは今のところ報酬は出せない。報酬が出せるのは町内会の会費からが主になってくると思うが、そこは自助努力だと言われたら、報酬を出したいが出せない町内も出てくるのではないかと思う。
		○自治会の自主財源と補助金をどう組み合わせながら、その中で会長に対する補助をどうしていくか、お任せ自治にならないような方向性で考えていく必要がある。

	行政からの依頼事項に関すること	○自治協議会制度になって、行政からの地域への依頼は減らすべきであるが、あまり減っていない。その辺をもっと組織立って、行政も真剣に考えてもらいたい。また、選挙や国勢調査など、細かいものもたくさんあるが、そういうものに対する報酬も減る一方である。これでは、団塊の世代の人たちもなかなか入ってこない。
		○行政からの依頼事項の問題だが、どの程度まで整理ができたのか。また、残された問題についても、こういう理由でまだ進んでいないというような途中経過の説明が必要だ。その上で、行政の業務の一環であるものは、町内会長にボランティアのような気持ちでさせるのではなく、一定程度、仕事の一部として、報酬としてある程度それに見合った手当を支給する形にしないといけないのではないか。
	地域と行政の役割分担に関すること	○高齢者支援でも自主防災でも、まずは地域と行政の役割分担を決めておく必要があるのではないか。行政は今回のプロジェクトでどこまでやるのか、その部分を大まかに決めておくべきだ。その上で、これはコミュニティにお願いしますという部分がないと、だまされているような気になる。地域の負担感は消えない。
		○自助、共助、公助の現状分析は必要だと思う。
地域が主体的に取り組むまちづくりに関すること		○地域によって取り組みの熟度が異なるのは当然のことであり、活動が活発な地域を参考にしながら、自らの地域の課題を見て、追いかけて取り組んでいく一方、行政も支援を行っていくというのが望ましいと思う。
		○新しい担い手の掘り起しを意識した取り組みが必要。校区全体でワールドカフェなどを検討してもいいのかなと思った。
超高齢社会に向けた対応に関すること		○これから地域包括システムを構築していく中で、見守りや支えあい、絆づくりという視点を考えると、市レベルではやっていけない。区レベルでも難しく、校区、そして町内会レベルで考える必要がある。自治会・町内会においてうまく機能すれば、それが校区全体に広がり、区や市に広がると思う。
		○高齢社会については、「超」がつく超高齢社会が目の前に迫ってきており、あまり時間的な余裕がないということもある。議論し進めるべきことは進めていかなければならない。
その他		○個人情報についてだが、市の言い分も分かるが、敬老会などでお困りのところもあると思う。
		○話が細かすぎてなかなか入っていけないというのが正直な感想。もう少し客観的に見て議論できるようなテーマ設定も必要だと思う。

資料２

福岡市の高齢化の将来予測と地域活動の現状等について

１　福岡市の高齢化とその課題

別紙２のとおり

２　地域における高齢者等を支える活動等の現状

（１）高齢者等を支える地域活動

＜校区社協などを中心とした活動＞

・日常の見守り活動「ふれあいネットワーク」
・住民同士の交流の場「ふれあいサロン」
・配食ボランティア活動「ふれあいランチ」

＜地域のボランティアグループによる活動＞

・生活支援ボランティア活動
　ごみ出し，掃除，洗濯，電球交換，外出支援　など生活全般に関すること

＜福岡市事業＞

・声の訪問
・緊急通報システム
・見守り推進プロジェクト（福岡見守るっ隊）
・徘徊高齢者等ネットワーク事業　など

（２）災害時要援護者を支える仕組み

・避難支援計画（個別計画）策定の取り組み
・災害時要援護者支援ハンドブックの配布＜福岡市事業＞　など

（３）地域の防犯・防災対策など

・防犯パトロールの実施
・街頭防犯カメラの設置
・防災訓練の実施，防災マップの作成　など

別紙2

福岡市の高齢化とその課題

H26. 7.28

保健福祉局高齢社会部
高齢社会政策課長　平田　俊浩

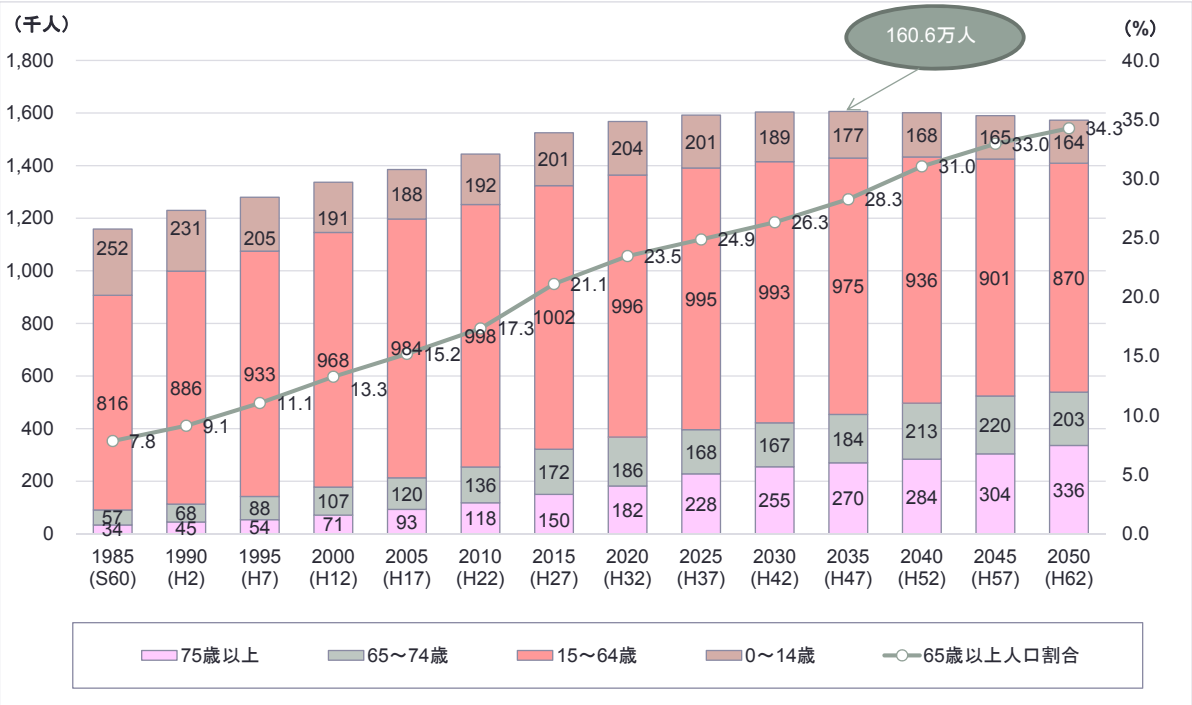
1. 福岡市の高齢化の将来予測

2. 高齢化に伴う課題

3. 解決にむけての方策

1．福岡市の高齢化の将来予測

〇2035年まで人口増で160万人突破
〇高齢化率は2025年に24.9%，2040年に31%
〇2015年をピークに生産年齢人口が減少



資料：平成24年3月「福岡市の将来人口推計」福岡市総務企画局

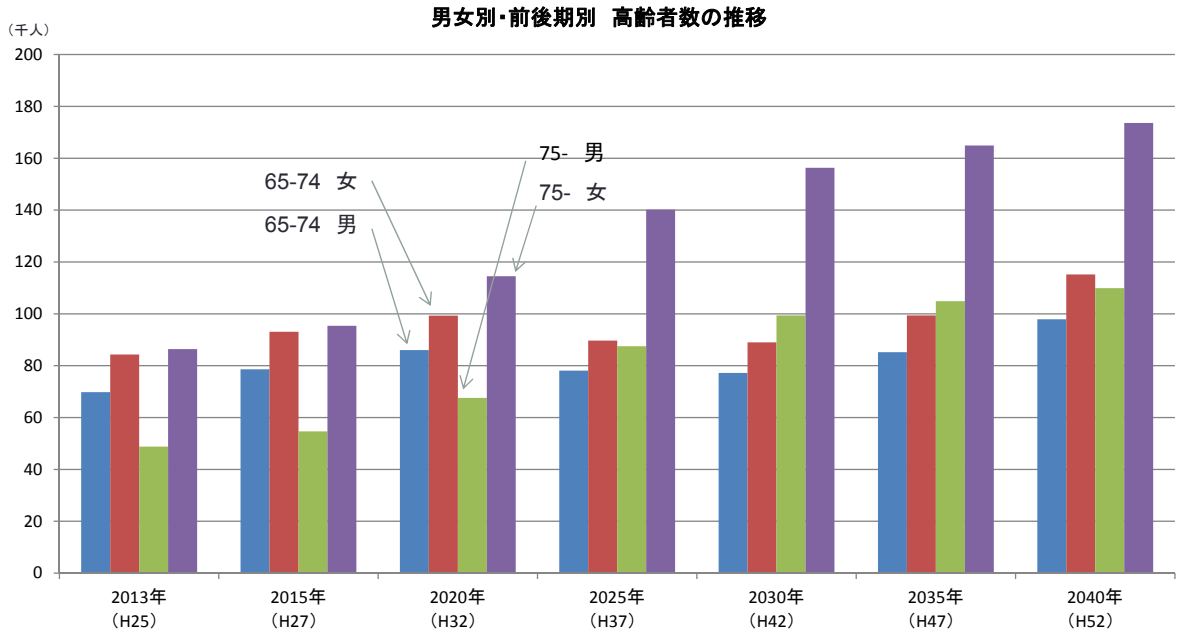
福岡市の人口増＝後期高齢者の増

福岡市の人口推移

	H25N（2013）	H27N（2015）	H32N（2020）	H37N（2025）	H25N → H37N
総人口	1,470,746	1,525,100	1,567,700	1,592,200	121,454
65歳以上	276,340	321,800	367,400	395,500	119,160
うち75歳以上	129,240	150,100	182,100	227,700	98,460
高齢化率	18.8%	21.1%	23.4%	24.8%	

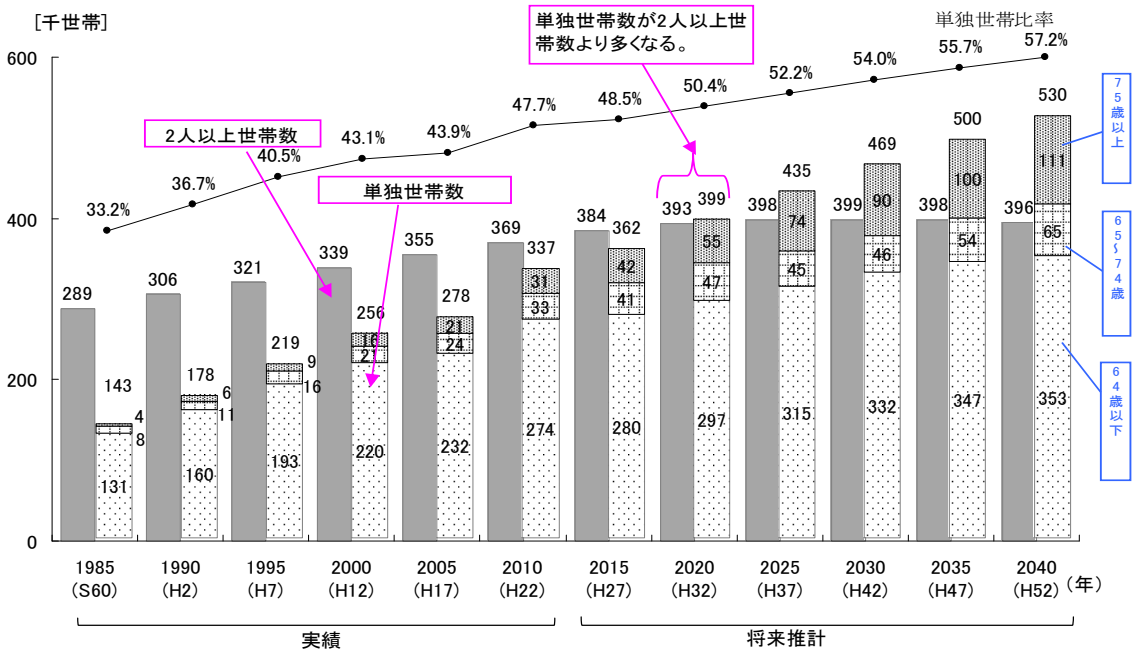
資料：平成24年3月「福岡市の将来人口推計」福岡市総務企画局

特に75歳以上の女性が増加する



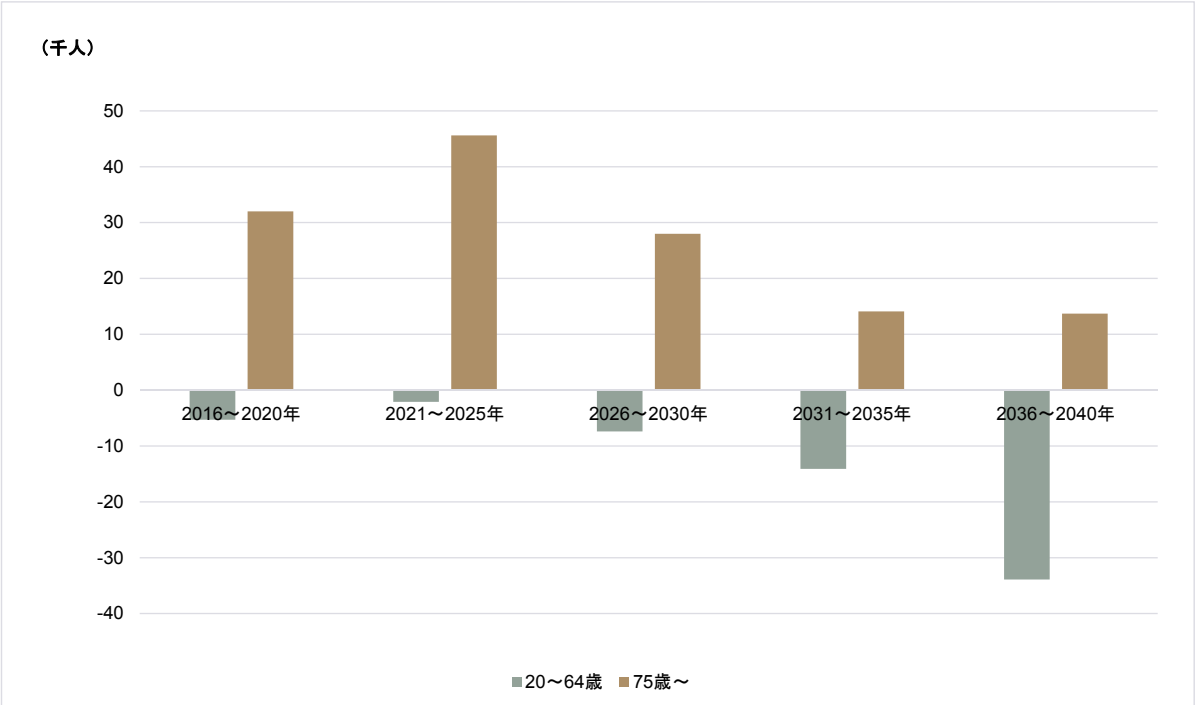
資料：平成24年3月「福岡市の将来人口推計」福岡市総務企画局

75歳以上の単身世帯が増加する



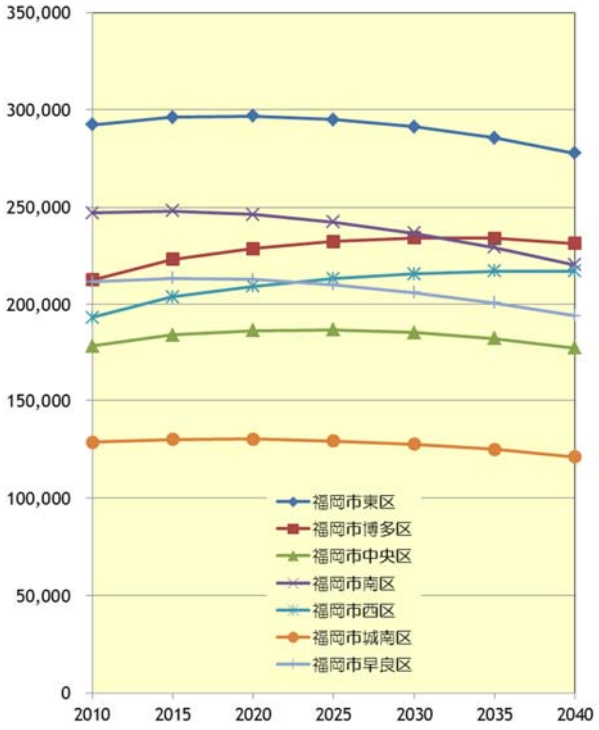
資料：平成24年3月 「福岡市の将来人口推計ロ」福岡市総務企画局

2026年以降，支える側が減り始める



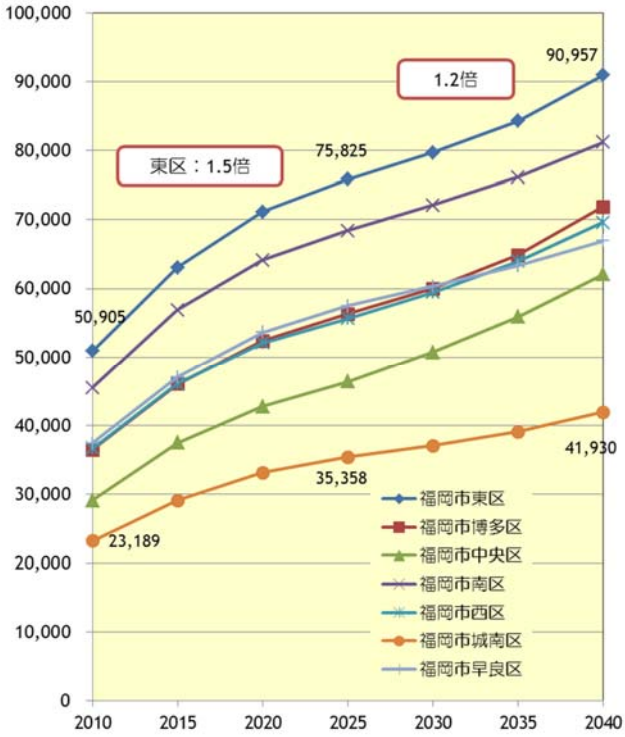
資料：平成24年3月 「福岡市の将来人口推計ロ」福岡市総務企画局

区別人口は，西区以外で減少



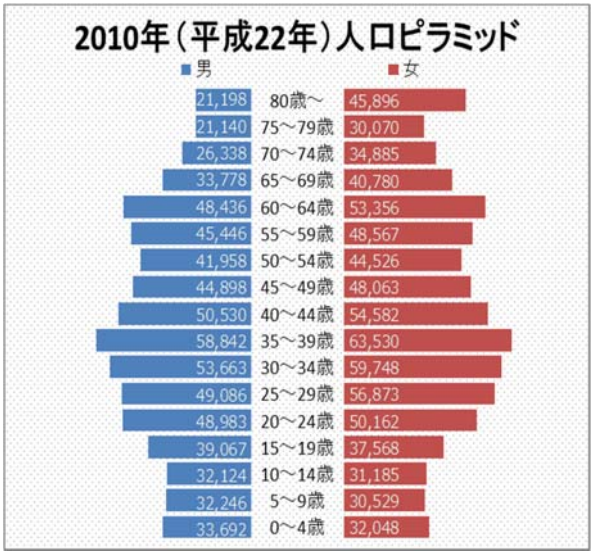
資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

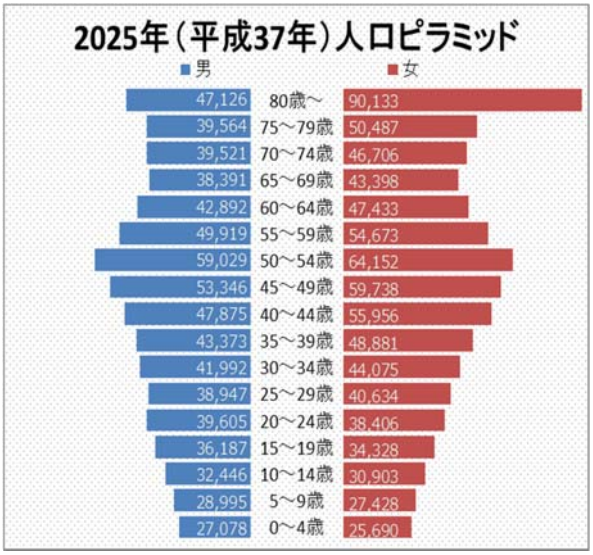
区別の高齢者人口



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

年齢階層別人口予測 （2010→2025）

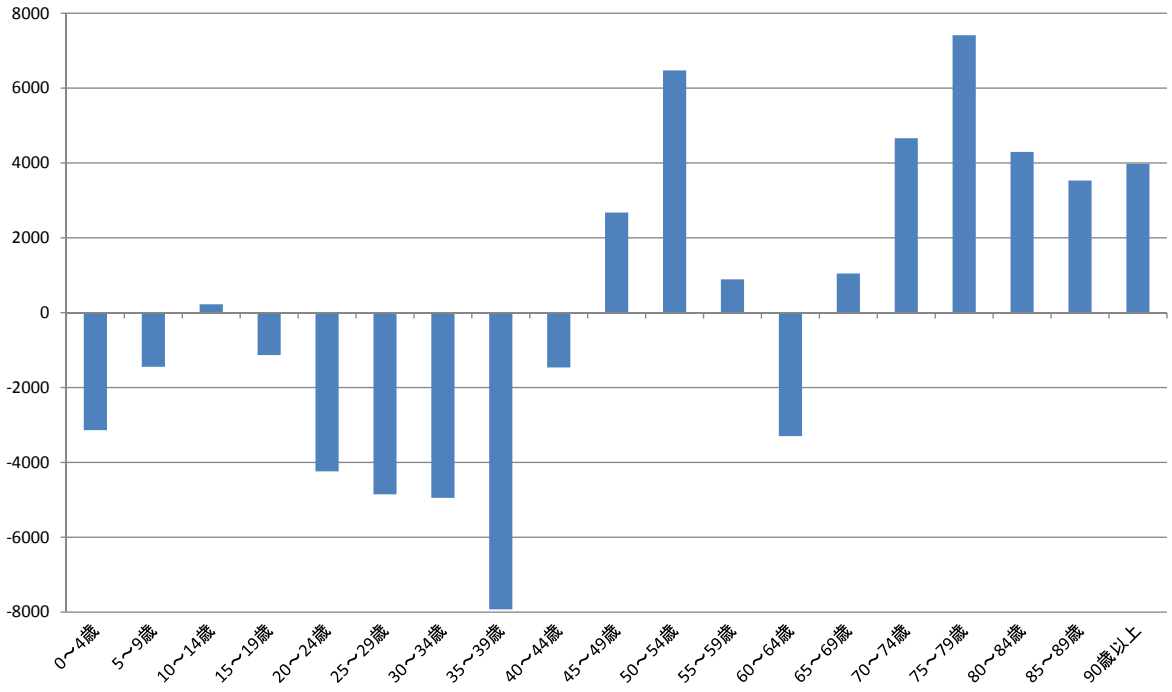




資料：国立社会保障・人口問題研究所 「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

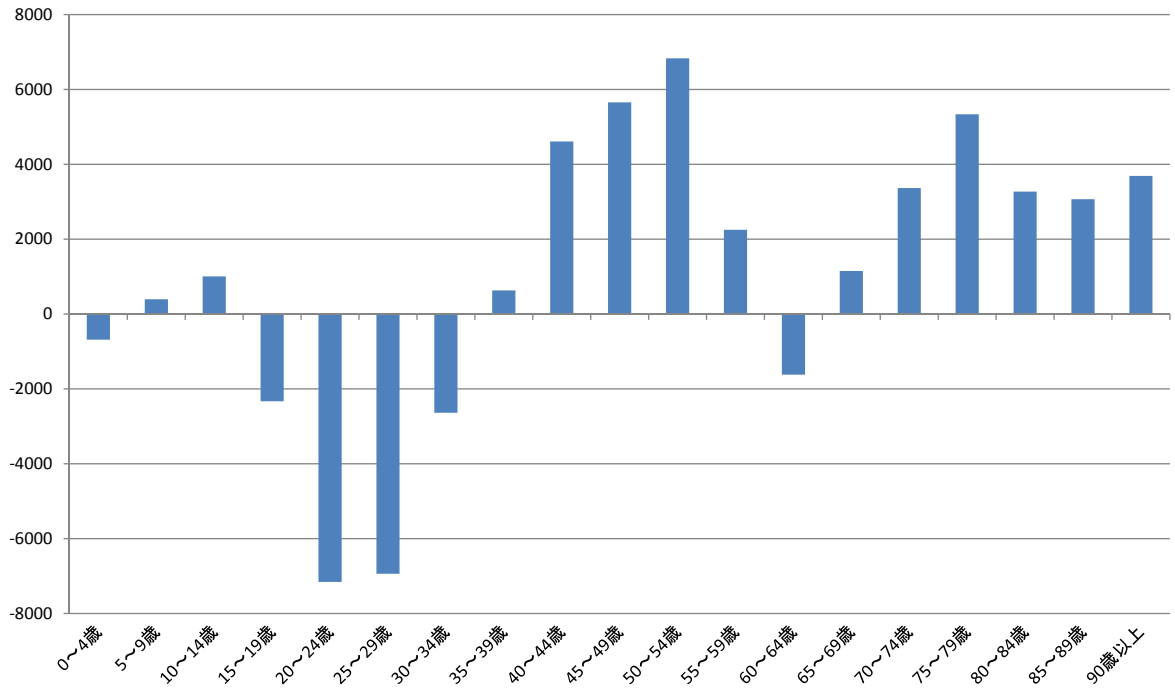
区別年齢階層別人口増減予測

東区（2010→2025）



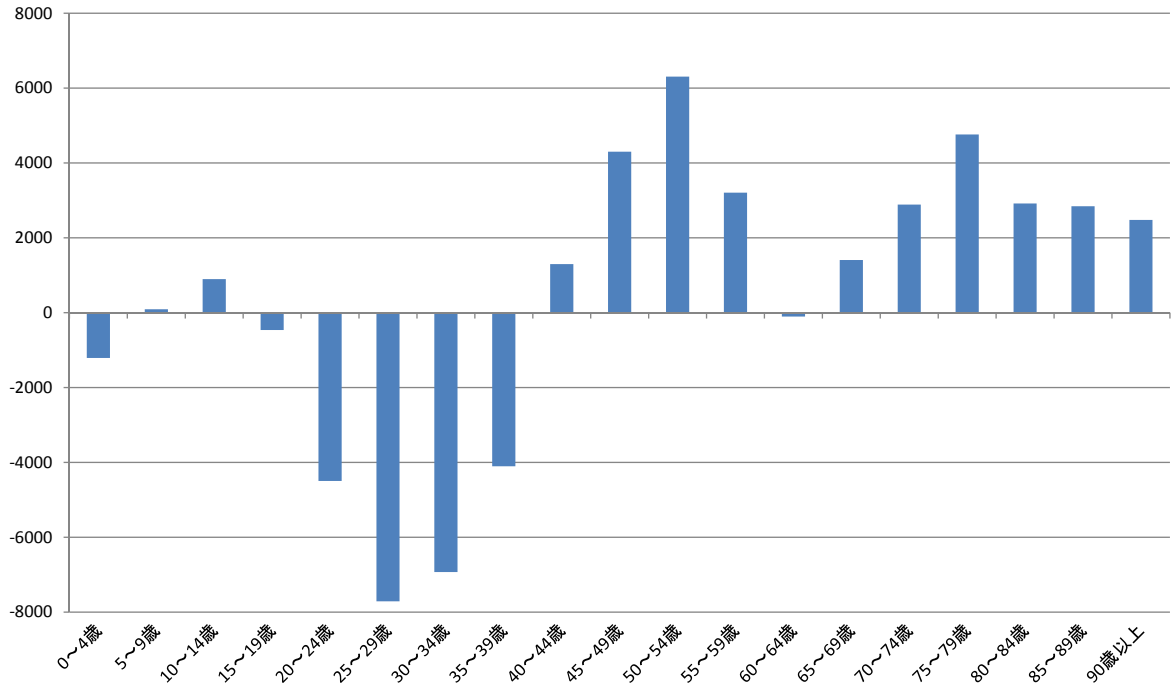
資料：国立社会保障・人口問題研究所 「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

博多区（2010→2025）



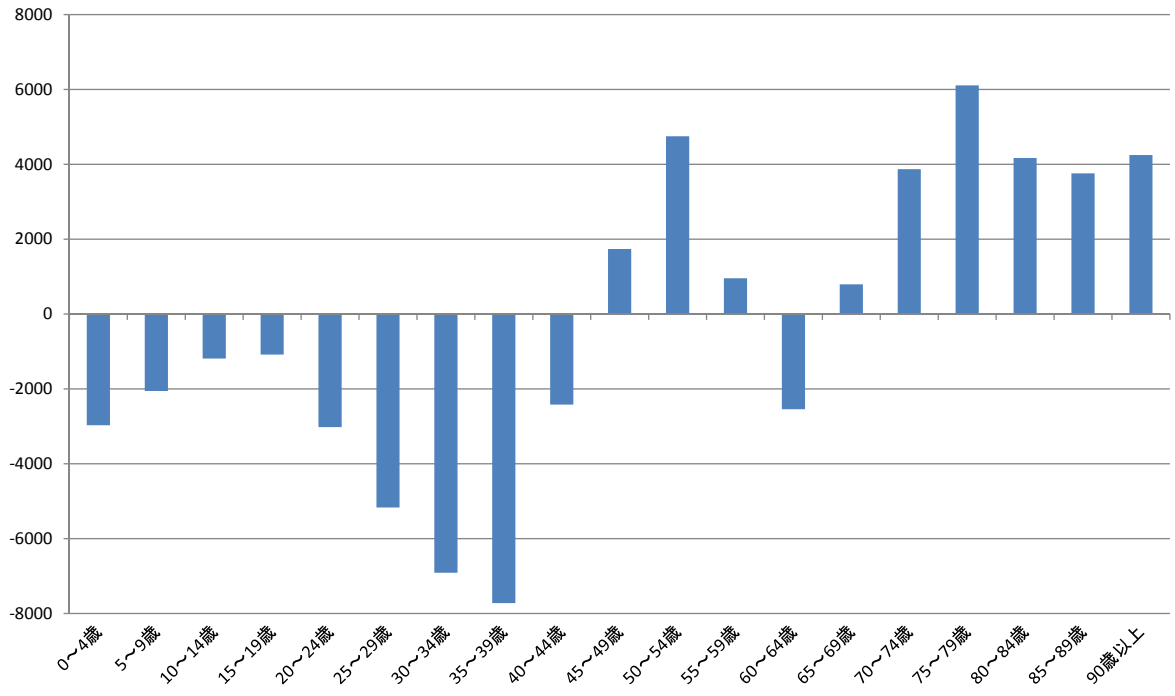
資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

中央区（2010→2025）



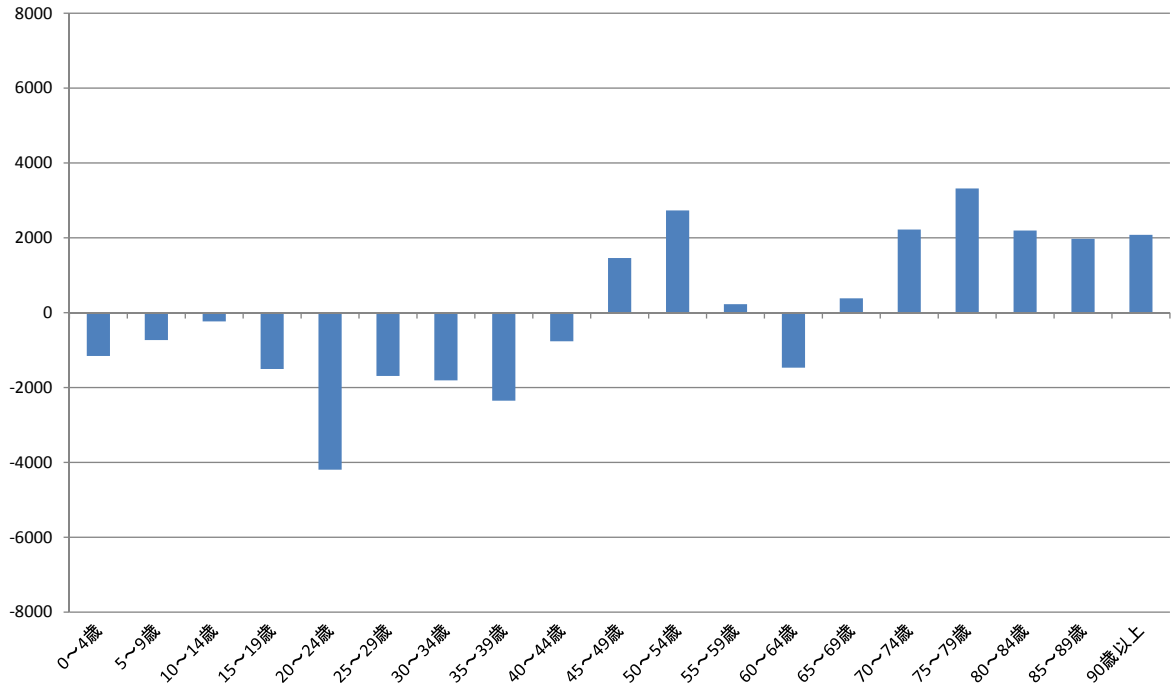
資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

南区（2010→2025）



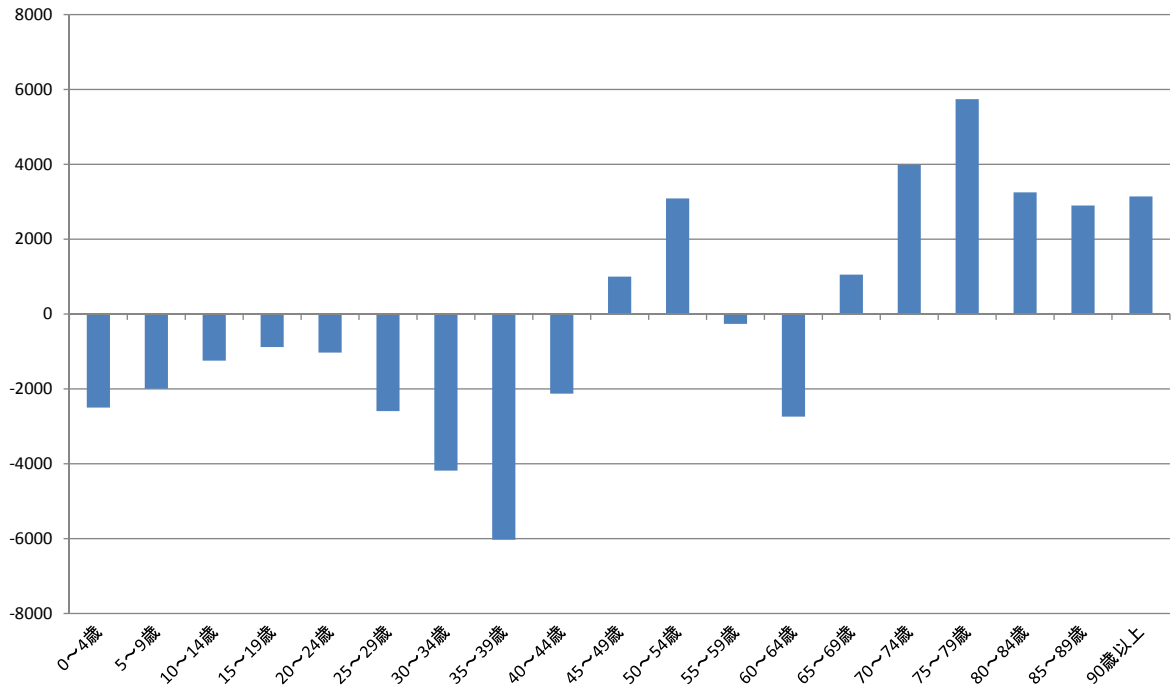
資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

城南区（2010→2025）



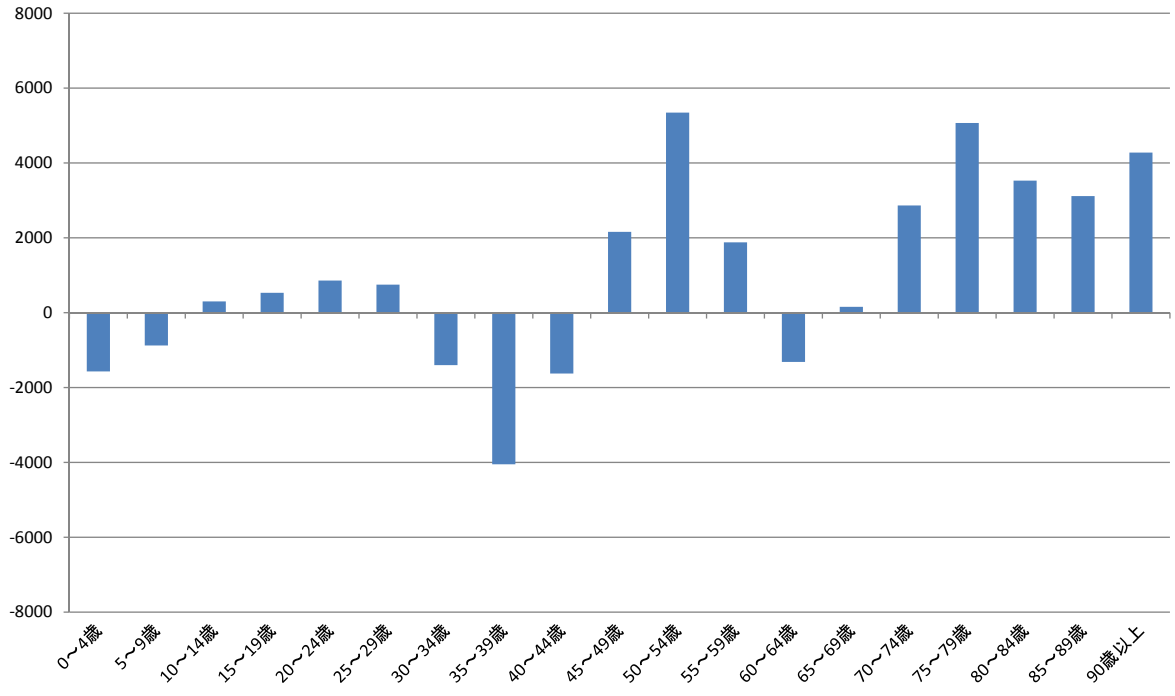
資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

早良区（2010→2025）



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

西区（2010→2025）



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来別推計人口（平成25年3月推計）」

2. 高齢化に伴う課題

（1）医療ニーズの増加

- 高齢者の増加に伴い，医療ニーズが増加
- それに要する医療費も増加

  - 65歳未満の一人あたり年間医療費　177.2千円
  - 65歳以上の一人あたり年間医療費　770.5千円　（4．3倍）
    （75歳以上　968.3千円）　　（5．5倍）

平成23年度国民医療費の概況（厚生労働省）

（2）介護ニーズの増加

- 要介護者の増加

  単純計算では，

  2014年　57,208人

  2025年　100.421人（1.8倍）

  2040年　144,232人（2.5倍）

・介護給付費の増加

・認知症高齢者の増加

（3）多死時代の到来・亡くなる場所の変化

- 2040年には，死亡者数が現在の1.8倍程度に増加する。

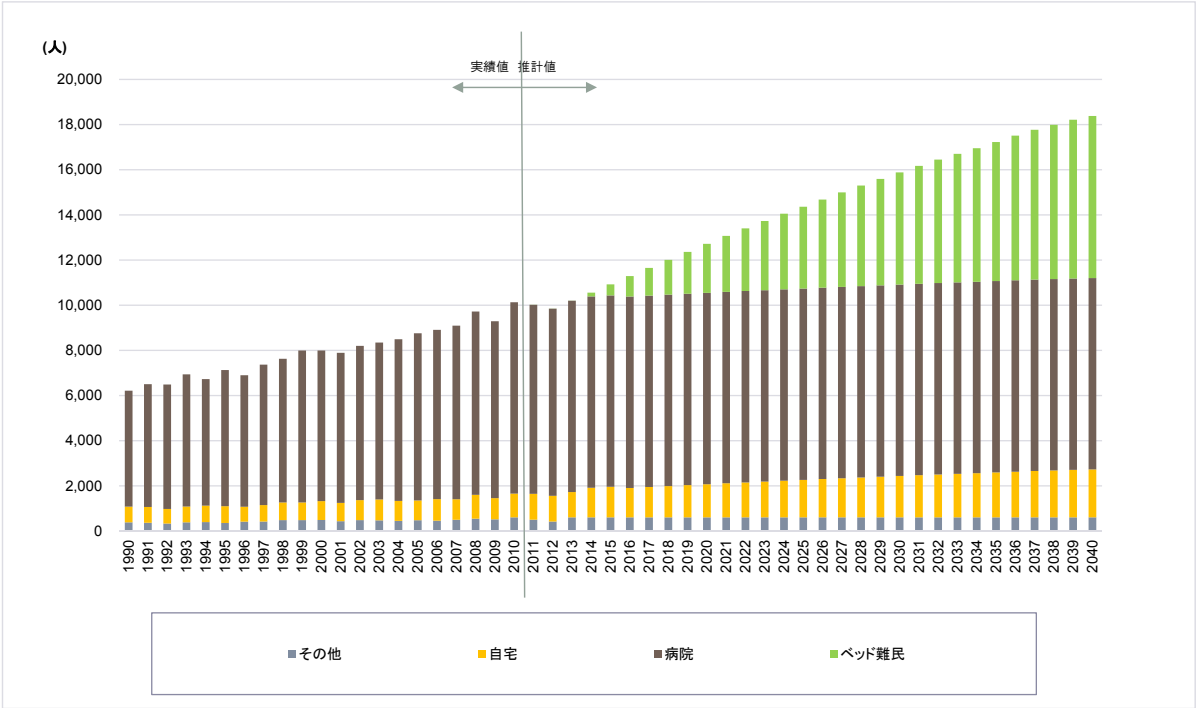
- 医療を必要とする高齢者が増加するため，病院での見取りが困難となる。

亡くなる場所別の死亡数

	実数	構成割合
病院	8,826	82.4%
診療所	152	1.4%
老人保健施設	63	0.6%
老人ホーム	262	2.4%
自宅	1,176	11.0%
その他	230	2.1%
合計	10,708	100.0%

資料:「平成24年度保健統計年報」福岡市保健福祉局

死亡者数の推計と亡くなる場所



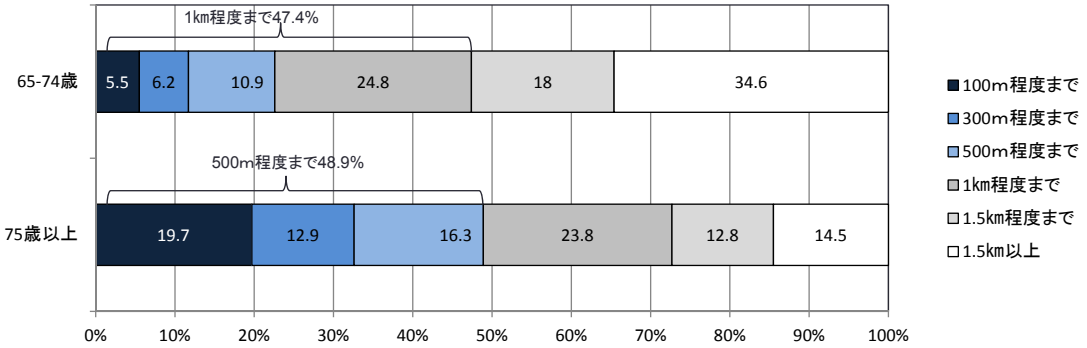
資料:第4回「高齢者の保健と福祉に関する総合ビジョン策定会議」資料　保健福祉局

（4）買物・外出困難な高齢者の増加

- 65歳以上の高齢者の47.4% … 1㎞以上の移動が困難
- 75歳以上の高齢者の48.9% … 500m以上の移動が困難

→日常生活に不便をきたす高齢者が増加

徒歩（補助器具を含む）移動可能距離別人員構成比



資料：平成20年3月「都市における人の動き」 国土交通省

（5）住まいの課題

- 福岡市の住宅の特徴
  1. 共同住宅率が75.5%（全国平均41.7%）
  2. 借家率が57.7%（全国平均35.8%）
  3. 単身世帯率が47.7%（全国平均32.4%）
  4. バリアフリー化率が39.5%（全国平均48.7%）

⇒福岡市の特性に応じた住まい対策を講じていくことが必要

（6）地域の安全・安心に関する課題

- 高齢者を狙った悪質商法や振り込め詐欺など，事件・事故やトラブルに巻き込まれる高齢者の増加
- 災害時要援護者に対する支援者確保の問題

3．解決にむけての方策

（1）（2）医療ニーズの増加，介護ニーズの増加
→健康づくり・介護予防の推進

（3）多死時代の到来・亡くなる場所の変化
→医療と介護が連携し，できるだけ地域で安心して暮らせる仕組みづくり

（4）買物・外出困難な高齢者の増加
→共助の力の強化

（5）住まいの課題
→各種の住まい政策

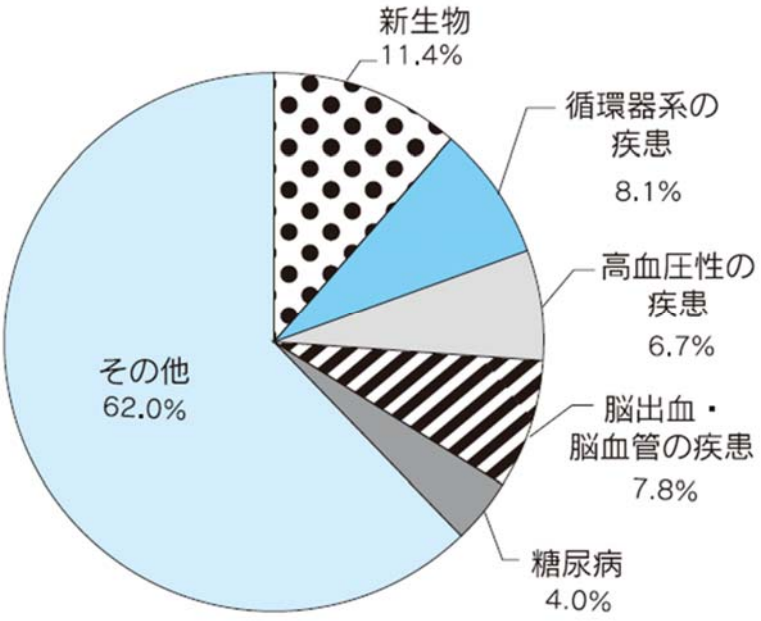
（1）~（5）の推進⇒地域包括ケアシステムの実現

（6）地域の安全・安心に関する課題
→犯罪のない安全で住みよいまちづくりの推進，災害時要援護者避難対策の推進　など

（1）健康づくり・介護予防の推進

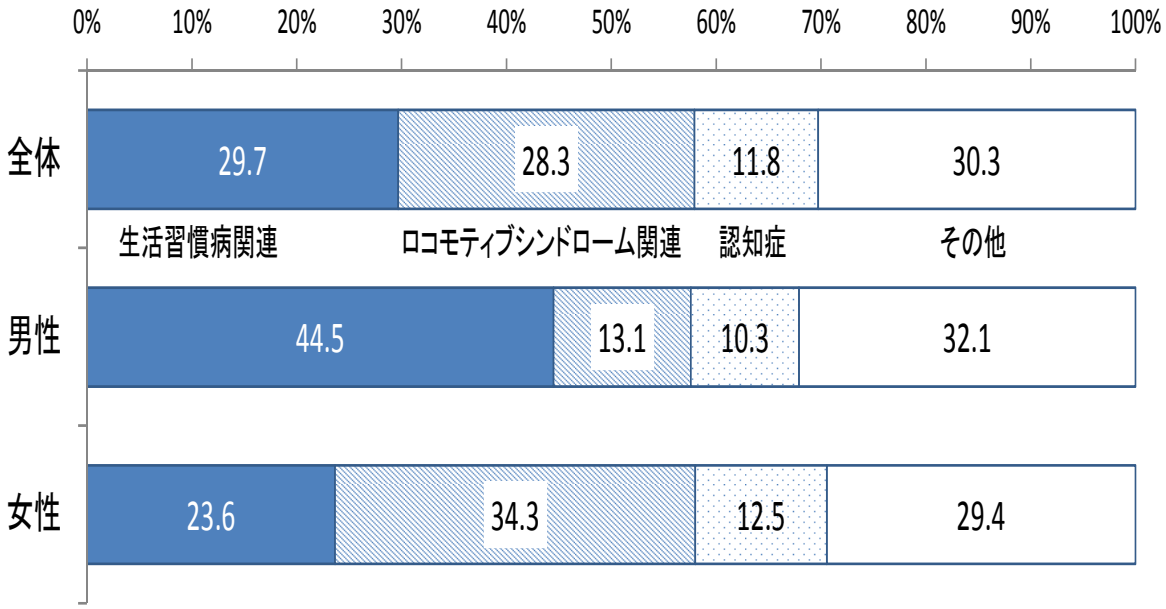
生活習慣病・ロコモティブシンドローム対策

生活習慣病と医療費



資料：平成22年度福岡市高齢者実態調査

要介護になった原因

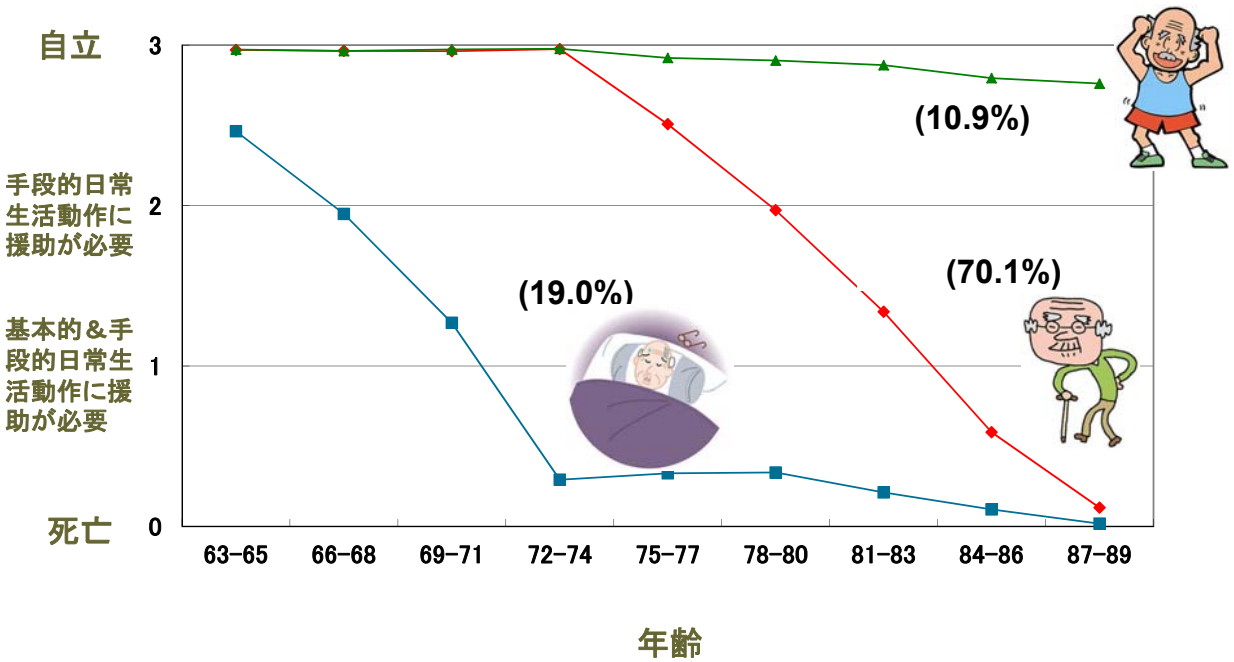


資料：平成22年度福岡市高齢者実態調査

自立度の変化パターン

―全国高齢者20年の追跡調査―

男性

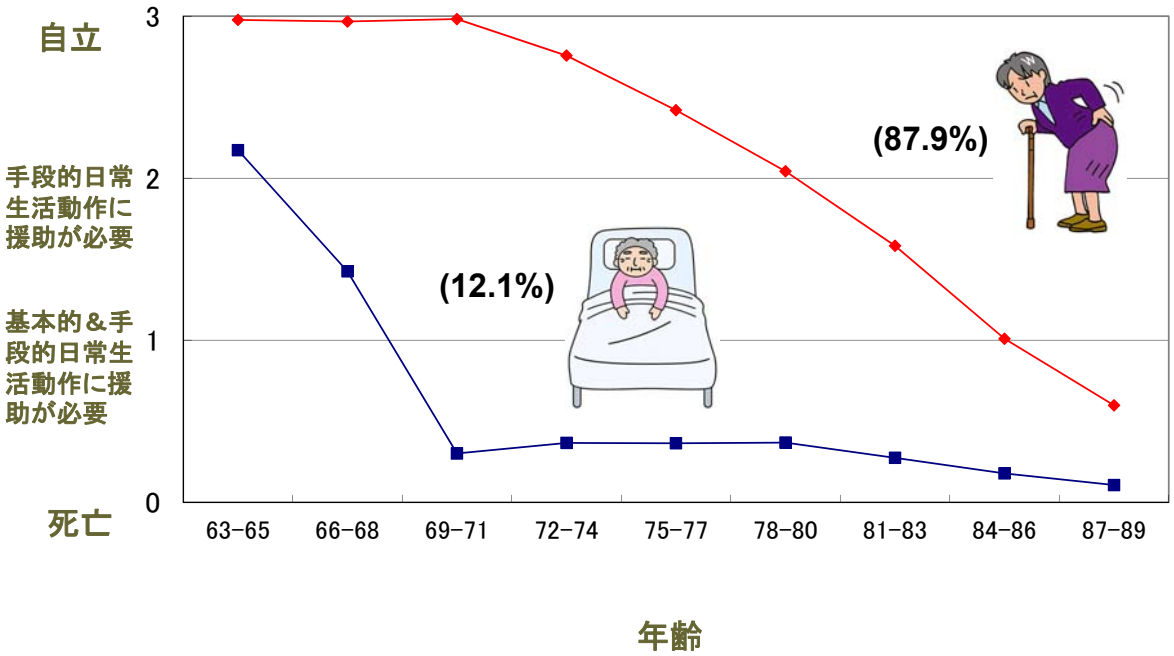


出典） 秋山弘子　長寿時代の科学と社会の構想 『科学』 岩波書店, 2010

自立度の変化パターン

ー全国高齢者20年の追跡調査ー

女性



出典）秋山弘子　長寿時代の科学と社会の構想　『科学』岩波書店, 2010

(2)共助の力の強化　～その1～

- 地域の実態は地域住民が最もよく知っている
- いざというときは，やはりご近所同士の助け合い

いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるには，
地域住民の「支え合い」，「助け合い」が重要
その上で，民間企業やNPO，他のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ組織なども参入

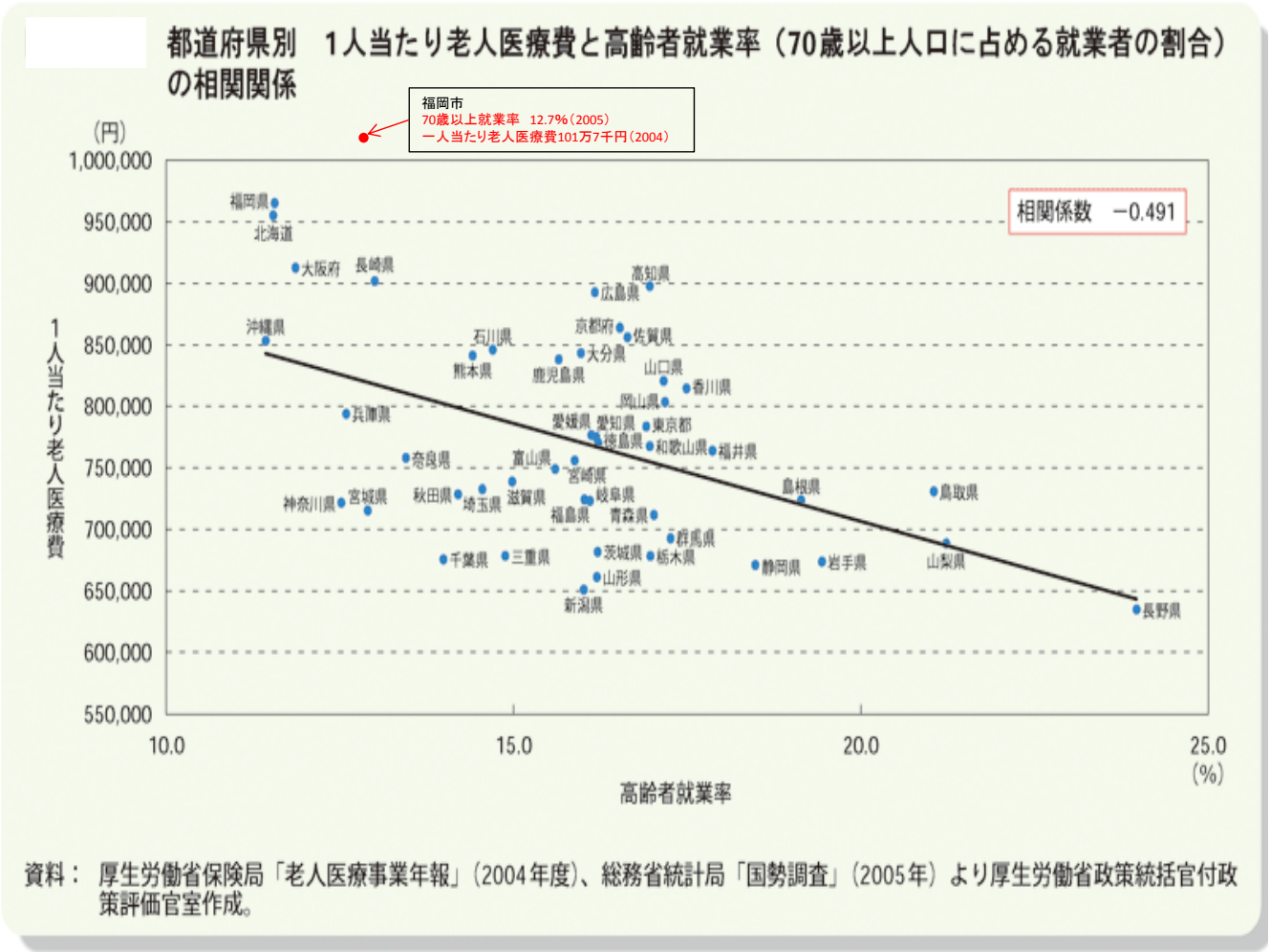
↓

地域における見守りの推進や，生活支援体制の構築を目指す必要がある。

（2）共助の力の強化　～その2～

- 高齢者の8割は元気高齢者
  高齢者の増加＝元気な高齢者の増加
  （65歳~74歳の要介護認定率　2.7%）

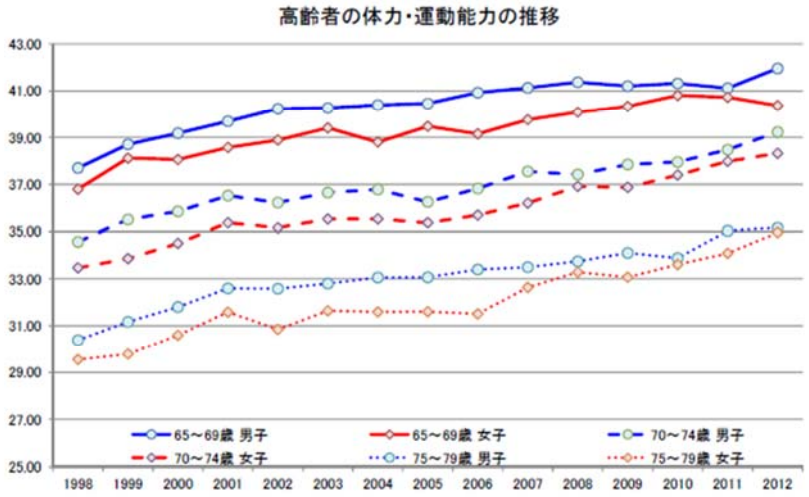
元気な高齢者がいつまでも元気であり続けるためには，
高齢者の社会参加活動（就労・地域活動等）が最も重要
=健康づくり・介護予防
↓
高齢者を地域活動へ導入し，シニアがシニアを支える仕組みづくりを目指す必要がある。



資料：　厚生労働省保険局「老人医療事業年報」（2004年度）、総務省統計局「国勢調査」（2005年）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成。

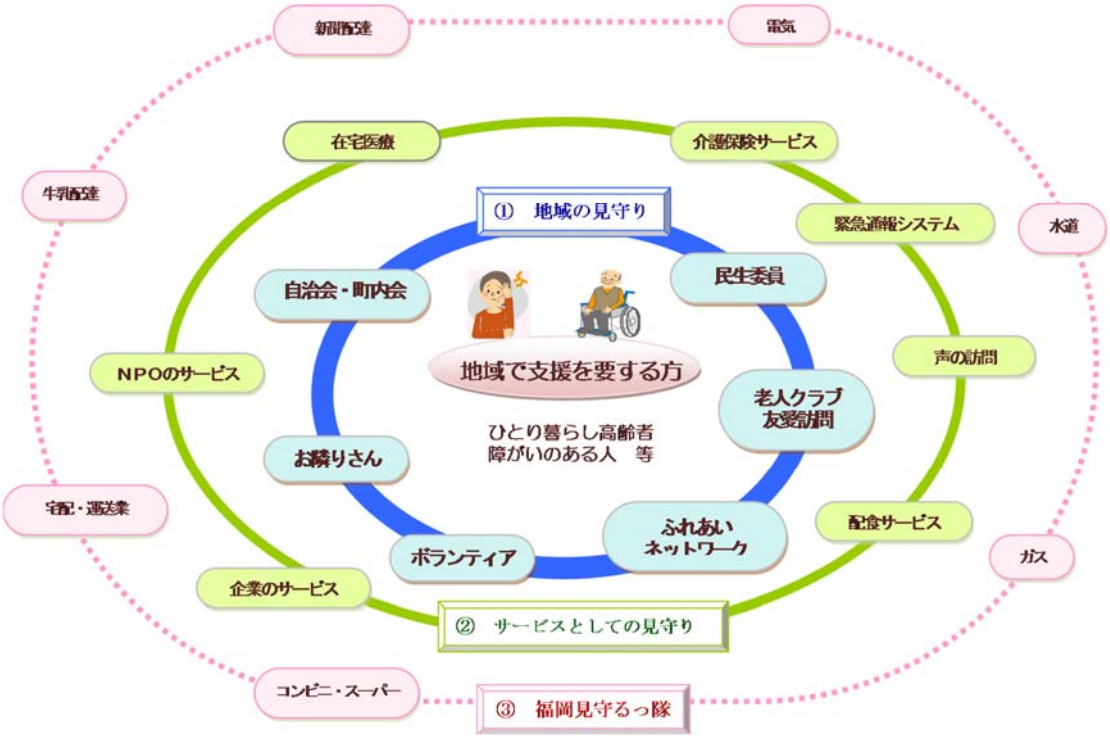
5歳若返っている高齢者

- 高齢者の体力・運動能力のスコアはおおむね上昇傾向。
- 1998年時点の合計点と、2012年の合計点を比較すると、おおむね5歳下の年齢階層のスコア並みに向上している。



（備考）文部科学省「体力・運動能力調査」により作成。
注）データは下記の項目の合計点の平均値である。
握力・上体起こし・長座体前屈・開眼片足立ち・10m障害物歩行・6分間歩行

福岡市の重層的な見守り（イメージ）



資料３

意見交換する事項（テーマ）

１　支援が必要な高齢者等を地域で見守り助け合うことについて

（考えられるテーマ）

・地域で見守り助け合う方法

・地域活動のあり方について（自助，共助，公助の考え方など）

など

２　地域における元気な高齢者の活躍推進について

（考えられるテーマ）

・高齢者の社会参加について

・高齢者を地域に呼び込む仕組みづくり　　など

資料４

自治協議会等アンケートに係る集計事項（案）

１　会長（代表者）に関すること

①選出方法　②任期　③定年、再任制限の有無　④手当の額　⑤活動費の額

２　運営に関すること

①年間の総予算額　②総会、定例会の開催状況（対象者数、開催頻度、内容）
③事務局の状況（設置の有無，業務内容）
④事務員の状況（配置の有無，人件費の額，~~雇用してない場合はその理由~~）
⑤広報紙の発行状況（発行の有無、~~頻度、内容、発行していない場合はその理由~~）
⑥ホームページの開設状況　⑦よりよい運営に向けた取り組みの状況

３　自治協議会等の活動に関すること

①活動内容　②活動内容の決定方法
③活動内容の決定方法や予算配分で工夫している点（自由記入）
④今後活動に取り組みたい分野
⑤企業やＮＰＯとの連携状況
⑥校区の目標像や活動方針の策定状況（策定の有無，種類，周知方法）
⑦運営や活動にあたっての課題（人材，住民，運営，解決のための取り組み）
⑧運営や活動を充実させるために必要なもの
⑨東日本大震災以降に始めた共助の取り組みの状況

４　市の施策に関すること

①行政が取り組む必要のある事項，分野　②校区担当職員へ支援を望む事項
③公民館の利用状況（利用の有無，利用頻度、利用時間などで不都合を感じる事項）
④公民館から受けている支援内容及び満足度

５　会長自身に関すること

①年齢　②在任年数　③月当たりの従事日数
④特に時間を割いている内容　⑤会長職との兼務状況
⑥公民館の利用状況（訪問の頻度）

６　自治協議会設立後の状況に関すること

①自治会、各種団体の加入状況　②自治連合会の有無と加入状況
③前回アンケート（平成 22 年度）からの状況の変化

７　市の地域に関する施策全般に関する意見

①「コミュニティの自治の確立」「コミュニティと市の共働」に向け，特に取り組みが必要だと思う項目
②超高齢社会に向けて必要だと思う取り組みについて
③市の施策全般や今後必要だと思う取り組みについて、市や区役所に対するご意見，ご要望（自由記入）

~~○○○~~（取消線）：前回の調査項目のうち、今回は調査項目から外すもの
○○○（網掛け）：今回新たに追加する調査項目

自治会・町内会アンケートに係る集計事項（案）

１　校区に関すること

①校区名

２　会長（代表者）に関すること

①　選出方法　②任期　③定年、再任制限の有無　④手当及び活動費の額

３　運営に関すること

①世帯数（加入・未加入世帯数、うち集合住宅入居世帯数）
②未加入世帯の状況（未加入の理由，未加入により困っている点）
③加入促進のための取り組みの状況
④世帯の住居構成　⑤集合住宅に関する取り組みの状況
⑥全世帯未加入の集合住宅の有無　⑦町内会費の額
⑧年間予算額　⑨総会，定例会等の開催状況
⑩広報の実施状況（広報手段、内容）　⑪規約の有無

４　活動に関すること

①　行事、活動の実施状況　②今後活動に取り組みたい分野
③企業やＮＰＯとの連携状況　④運営や活動にあたっての課題
⑤④の解決に向けた取り組みの状況
⑥運営や活動を充実させるために必要な事項
⑦東日本大震災以降に始めた共助の取り組みの状況
⑧地域デビュー応援事業について（申請予定、申請しない場合はその理由）

５　集会施設に関すること

①集会施設の有無
②集会施設の状況（建設時期、面積、設備、管理形態、利用頻度，利用内容）
③建設、建て替え計画の有無及び内容

６　市の施策その他に関すること

①行政の支援を望む事項
②　地域活動を行う上で感じていること
③超高齢社会に向けて必要だと思う取り組みについて

７　会長自身に関すること

①年齢　②性別　③在任年数　④月当たりの従事日数

~~〇〇〇~~（取消線）：前回の調査項目のうち、今回は調査項目から外すもの
〇〇〇（網掛け）：今回新たに追加する調査項目

自治協議会等アンケート調査票（案）

（ご記入にあたって）

１．このアンケートは、自治協議会が設立されている場合は自治協議会、設立されていない場合は自治会・町内会の連合会についてお尋ねするものです。現在、約 98%の校区で自治協議会が設立されているため、設問の中では、両団体をあわせて「自治協議会等」との呼称を使用していますので、ご了承ください。

２．使用する筆記用具は、ボールペン、鉛筆など何でも構いません。

３．質問は、全部で　　問あります。

４．「その他」を選んだ場合は、その内容を（　）内にできるだけ具体的に記入してください。

５．調査票は、記入後、添付の封筒（切手不要。本市が調査を委託している会社あて）に入れて、**10 月　　日（　）まで**に郵便ポストに投函してください。

はじめに、自治協議会等の会長（代表者）についてお尋ねします

問１．会長は、どのような方法で選出していますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．互選　　２．投票　　３．輪番（当番）
４．選考委員会による選考　　５．その他（　　）

問２．会長の任期は、１期あたり何年ですか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．１年　　２．２年　　３．３年
４．４年　　５．５年以上

問３．会長に再任の制限はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、（　）内に最長で何期まで同じ人が会長を務めることができるかを記入してください。

１．有　　→（　　期まで）　　２．無

問４．会長に年齢による定年はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、（　）内に定年の年齢を記入してください。

１．有　　→（　　歳まで）　　２．無

問５．会長手当（報酬的なもの）はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、（　）内に金額を記入してください。

１．有　　→　年間（　　）万円　　２．無

問５の次　会長への活動費（交通費や通信費などの費用弁償的なもの）は支給されていますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１、２を選んだ場合は、（　）内に金額を記入してください。

１．概ね全額支給されている　→　年間（　　）万円
２．一部支給されている　→　年間（　　）万円
３．まったく支給されていない

自治協議会等の運営についてお尋ねします

問６．自治協議会等の年間の総予算額は、どのくらいですか。（　）内に金額を記入してください。

年間（　　）万円程度

そのうち、「活力あるまちづくり支援事業補助金」は（　　）万円

※ 自治協議会が設立されていない場合は、補助金の額は記入不要です。

問７．総会の出席対象者は、何人ですか。（　）内に人数を記入してください。

（　　）人　　そのうち、自治会・町内会長は（　　）人

問８．総会以外で、連絡調整や事業内容の検討などを行う定期的な会議（定例会など）は、どのくらいの頻度で開催していますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．月２回以上
２．月１回
３．２か月に１回
４．年３～５回
５．年２回
６．年１回
７．開催していない

≪問８で１～６を選んだ方へ≫

問８－１．出席対象者は、何人ですか。（　）内に人数を記入してください。

（　　）人　　そのうち、自治会・町内会長は（　　）人

≪問８で１～６を選んだ方へ≫

問８－２．定例会などでは、どのようなことを行っていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．事業の企画
２．事業の運営・実施方法の検討
３．事業の反省（振り返り）
４．部会・団体間の連絡
５．スケジュールの調整
６．校区の課題への対応策の検討
７．次年度予算の検討
８．次年度事業の検討
９．校区の目標像・将来像の検討
10．行政からの依頼・連絡事項の伝達
11．その他（　　）

問９．事務局や総務部など、組織の運営を専門に担当する部門がありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．有
２．無

≪問９で１を選んだ方へ≫

問９－１．その部門は、どのようなことを行っていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．総会の進行（司会）
２．総会の資料作成
３．総会の議事録作成
４．定例会の議題の調整
５．定例会の進行（司会）
６．定例会の資料作成
７．定例会の議事録作成
８．会議の開催案内
９．広報紙の作成
10．部会・団体間の連絡
11．スケジュールの調整
12．事業の企画・実施案の作成
13．文書の管理
14．物品の管理
15．会計処理
16．その他（　　）

問 10．事務を担当する人（事務員）を雇っていますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１、２を選んだ場合は、（　）内に勤務時間数などを記入してください。

１．年間を通して、常勤の事務員を雇っている →　（週　　時間程度）
２．必要な時期・期間だけ、パートタイムの事務員を雇っている
→　（月　　時間程度）
３．雇いたいが、雇うことができない ―――→ **問 10－２へ**
４．必要がないので、雇っていない

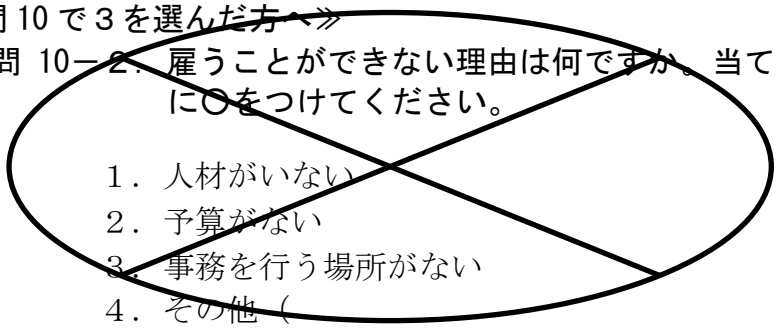
≪問 10 で１、２を選んだ方へ≫

問 10－１．事務員の年間の人件費は、どのくらいですか。（　）内に金額を記入してください。

年間（　　）万円程度

≪問 10 で３を選んだ方へ≫

問 10－２．雇うことができない理由は何ですか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。



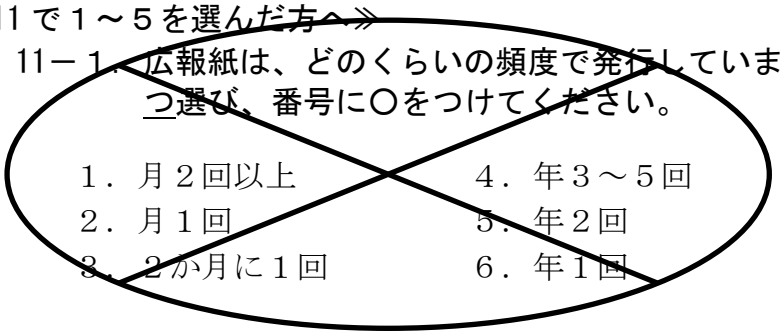
１．人材がいない
２．予算がない
３．事務を行う場所がない
４．その他（　　）

問 11．広報紙を発行していますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．自治協議会等で独自の広報紙を発行し、各世帯に配布している
２．自治協議会等で独自の広報紙を発行し、各世帯に回覧している
３．公民館だよりの一部（または裏面）に自治協議会等関連のお知らせを掲載している
４．公民館だより以外の既存の広報紙の一部（または裏面）に自治協議会等関連のお知らせを掲載している
５．その他（　　）
６．発行していない　→　**問 11－３へ**

≪問 11 で１～５を選んだ方へ≫

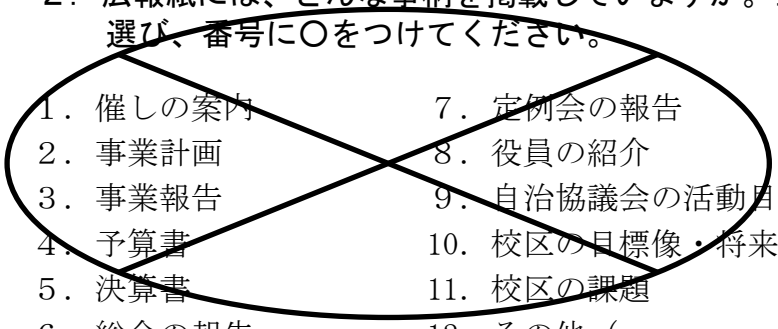
問 11－１．広報紙は、どのくらいの頻度で発行していますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。



１．月２回以上　　４．年３～５回
２．月１回　　５．年２回
３．２か月に１回　　６．年１回

≪問 11 で１～５を選んだ方へ≫

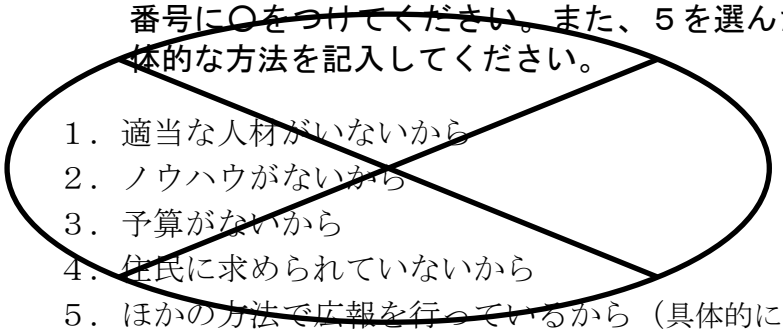
問 11－２．広報紙には、どんな事柄を掲載していますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。



１．催しの案内　　７．定例会の報告
２．事業計画　　８．役員の紹介
３．事業報告　　９．自治協議会の活動目的
４．予算書　　10．校区の目標像・将来像
５．決算書　　11．校区の課題
６．総会の報告　　12．その他（　　）

≪問 11 で６を選んだ方へ≫

問 11－３．広報紙を発行していない理由は何ですか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、５を選んだ場合は、（　　）内に具体的な方法を記入してください。



１．適当な人材がいないから
２．ノウハウがないから
３．予算がないから
４．住民に求められていないから
５．ほかの方法で広報を行っているから（具体的に：　　）
６．その他（　　）
７．特に理由はない

問 12. ホームページ（ブログ、フェイスブック等）を開設していますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．開設している
２．開設していないが、今後開設したい
３．開設していない

問 13. よりよい自治協議会等にしていくために、運営に携わっている人の中で取り組んでいることがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．住民の意見・ニーズの把握
２．役員会や定例会などでの討議
３．勉強会や研修会の実施
４．他の校区との情報交換
５．他の市町村との交流（区単位で行っているものは除く）
６．書籍･インターネット等による情報収集
７．行政が行う講座や研修会への参加
８．その他（　　）
９．特にない

自治協議会等の活動についてお尋ねします

問 14. 次に挙げた活動の中に、自治協議会等が主催または共催しているものはありますか（自治協議会等の内部で実行委員会をつくっている場合や、自治協議会等が実行委員会の一員となっている場合を含みます）。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1．運動会（体育祭）
2．文化祭
3．敬老会
4．夏祭り
5．新春の集い
6．防犯パトロール
7．防災訓練
8．通学路の見守り
9．高齢者の見守り
10．資源物の回収
11．清掃活動
12．これらの活動は行っていない

問 15. 活動の内容は、どのようにして決めていますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

1．自治協議会に参加している団体（または部会）に、ある程度任せている
2．自治協議会全体で話し合い、決めている
3．その他（　　）

問 16. 活動内容の決定方法や予算の配分方法について、工夫していることがあれば、自由に記入してください。

問 17. 今後、どのような分野の活動に積極的に取り組みたいと考えていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1．子育て支援
2．青少年の健全育成
3．高齢者支援
4．健康づくり
5．献血
9．ごみ減量・リサイクル
10．環境美化
11．防災
12．防犯
13．交通安全

6．人権
7．男女共同参画
8．スポーツ・レクリエーション
14．住民同士の交流
15．その他（　　）
16．特にない

問 17 の次．自治協議会等の活動に際して、民間事業者や商店街、ＮＰＯ等と連携した事業・取り組みはありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、具体的な内容について記入してください。

１．有　→
２．無

（具体的な事業・取り組みの内容）

問 18．校区の目標像や活動方針、まちづくり計画などを定めていますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．定めている
２．定めていないが、今後定めたい
３．定めていない

≪問 18 で１を選んだ方へ≫

問 18－１．どのようなものを定めていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．校区の目標像（スローガン、標語など）
２．校区の活動方針（重点的に取り組む項目や分野など）
３．校区の地区計画（都市計画などハード的なもの）
４．校区の中長期的なまちづくり計画（※高齢者や子ども、人権などソフト施策全般を含めた総合的なもの）
５．その他（　　）

問 18－2　それは、校区の住民に対してどのように周知を図っていますか。手段や広報媒体について、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．自治協議会だより、公民館だより等の広報紙に掲載
２．文書やチラシを作成し、配布・回覧
３．自治協議会、公民館等のホームページに掲示
４．公民館に設置しており、誰でも閲覧できる
５．その他（　　）
６．特段の周知は図っていない

問 19. 自治協議会等の運営や活動にあたって、どのようなことが課題だと思いますか。次の(1)～(3)のそれぞれの項目について、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

(1) 人材

1．役員のなり手がない
2．運営を手伝う人がいない
3．事務処理ができる人がいない
4．その他（　　）
5．特に課題はない

これらの課題を解決するために行っている取り組みがあれば、自由に記入してください。

(2) 住民

1．活動への参加者が少ない
2．自治協議会等の活動に住民の十分な理解が得られない
3．新旧の住民の交流が図りにくい
4．マンションなどの集合住宅との交流が図りにくい
5．その他（　　）
6．特に課題はない

これらの課題を解決するために行っている取り組みがあれば、自由に記入してください。

(3) 運営

1．会合や催しを行える場所が少ない
2．予算が足りない
3．ノウハウがない
4．事務処理の体制が十分でない
5．校区内に自治協議会等に参加していない団体が多い
6．自治協議会等に参加している団体間の連携が難しい
7．その他（　　）
8．特に課題はない

これらの課題を解決するために行っている取り組みがあれば、自由に記入してください。

問 20. 自治協議会等の運営や活動を充実させるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを３つまで選び、番号に○をつけてください。

１．住民への積極的な情報公開
２．住民に対する活動のＰＲ
３．人材の育成・確保
４．会計処理の透明性の確保
５．住民の意見・ニーズの把握
６．予算の確保
７．その他（　　）

問 20 の次. 近年、東日本大震災の影響などもあり、地域の絆や共助に関する市民の関心や、地域コミュニティに対する期待は高まってきていますが、あなたの校区で、東日本大震災以降、新たに開始した共助の取り組み（住民同士の「支え合い」や「助け合い」の活動など）はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、具体的な内容について記入してください。

１．有　→
２．無

（具体的な取り組み内容）

市の施策についてお尋ねします

問 21. 行政は、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。当てはまるものを３つまで選び、番号に○をつけてください。

１．活動費の助成
２．活動の場の提供
３．人材の育成
４．情報の提供
５．運営や活動に関する助言
６．地域活動に関する市民の意識啓発
７．住民が地域活動に参加するきっかけづくり
８．民間事業者や商店街、ＮＰＯ等と連携するための支援
９．その他（　　）
10．特に支援は必要ない

問 22. 校区担当職員に対して、どのような支援を望みますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．事業の実施方法などについて助言する
２．事業の企画にあたって情報を提供する
３．会議の運営や規約など、組織の運営について助言する
４．事務処理の方法について助言する
５．他の校区の参考となる取り組み事例などについて情報を提供する
６．その他（　　）
７．特に支援は必要ない

問 23. 自治協議会等の活動にあたって、公民館の施設を利用していますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．会議の場所として利用している
２．事務スペースを設けている
３．コピー機など、事務機器を利用している
４．その他（　　）
５．利用していない

≪問 23 で１～４を選んだ方へ≫

問 23－１．どのくらいの頻度で、自治協議会等の活動に利用していますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．ほぼ毎日　　４．月２～３回程度
２．週２回以上　　５．月１回程度
３．週１回程度　　６．年数回程度

≪問 23 で１～４を選んだ方へ≫

問 23－２．施設の利用時間などについて、不都合を感じることがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．もっと早い時間から利用したい（開館時刻が遅い）
２．もっと遅い時間まで利用したい（閉館時刻が早い）
３．必要な時に利用できない
４．その他（　　）
５．特に不都合は感じていない

問 24. 自治協議会等の活動に対して、公民館からどのような支援を受けていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．事業の実施方法などについて助言を受けている
２．事業の企画・実施にあたって情報の提供を受けている
３．会議の運営や規約など、組織の運営について助言を受けている
４．事務処理の方法について助言を受けている
５．共催で事業を実施している
６．その他（　　）
７．支援を受けていない

問 25. 自治協議会等の活動に対して公民館が行っている次の支援について、どう思いますか。次の(1)～(5)のそれぞれの項目について、当てはまるものを１つずつ選び、番号に○をつけてください。

	支援の充実が必要だと思う	現状でよいと思う	支援はあまり必要ないと思う
(1)事業の実施方法などについて助言する	1	2	3
(2)事業の企画・実施にあたって情報を提供する	1	2	3
(3)会議の運営や規約など、組織の運営について助言する	1	2	3
(4)事務処理の方法について助言する	1	2	3
(5)共催で事業を実施する	1	2	3

会長ご自身についてお尋ねします

問 26. 差し支えがなければ、あなたの年齢を教えてください。(平成 23 年 3 月 31 日現在)

満（　　）歳

問 27. あなたは、自治協議会等の会長になって、今年で何年目ですか。

今年で（　　）年目

問 28. あなたは、自治協議会等の活動に１か月あたり何日程度従事していますか。

１か月当たり（　　）日程度

問 29. あなたは、自治協議会等の会長として、特にどのようなことに時間をさいていますか。主なものを３つまで選び、番号に○をつけてください。

１．校区で実施する事業への参加
２．校区で実施する事業の準備
３．校区内の会議への出席
４．行政が主催する会議・催し等への出席
５．行政からの依頼事項への対応
６．校区内の連絡調整
７．その他（　　）
８．特にない

問 30. あなたは、校区で、自治協議会等の会長以外の役職に就いていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．交通安全推進委員会会長
２．体育振興会会長
３．男女共同参画協議会会長
４．青少年育成連合会会長
５．ごみ減量･リサイクル推進会議等会長
６．献血推進協力会会長
７．衛生連合会会長
８．自主防災組織代表
９．老人クラブ連合会会長
10．防犯組合長
11．社会福祉協議会会長
12．人権尊重推進協議会会長
13．自治連合会会長
14．自治会・町内会長
15．その他（　　）
16．ほかの役職には就いていない

問 31. あなたは、どのくらいの頻度で公民館に足を運びますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．ほぼ毎日
２．週２回以上
３．週１回程度
４．月２～３回程度
５．月１回程度
６．年数回程度
７．ほとんど足を運ばない

◆自治協議会の方は、次の設問（問 32）へお進みください。

◆自治会・町内会の連合会の方は、問 35 へお進みください。

自治協議会設立後の状況についてお尋ねします

問 32. 次に挙げた団体などの中に、自治協議会に参加しているものはありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．老人クラブ連合会
２．子ども会育成連合会
３．防犯組合
４．小学校ＰＴＡ
５．中学校ＰＴＡ
６．特別支援学校ＰＴＡ
７．社会福祉協議会
８．人権尊重推進協議会
９．消防分団
10．福祉施設
11．商店街
12．ＮＰＯ（民間非営利組織）
13．食生活改善推進員
14．民生委員・児童委員
15．保護司
16．参加しているものはない

問 33. 自治協議会とは別に、校区内の自治会・町内会による連合会（自治連合会など）がありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．有　　２．無

≪問 33 で１を選んだ方へ≫

問 33－１．その連合会は、自治協議会に参加していますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．参加している　　２．参加していない

問 34. 平成 22 年度（前回このアンケートを行った時点）と比べて、現在の状況はどうですか。次の(1)～(9)のそれぞれの項目について、当てはまるものを１つずつ選び、番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
(1)校区内の団体間の連携が進んだ	1	2	3	4	5
(2)地域活動に多くの声を反映できるようになった	1	2	3	4	5
(3)催しの参加者が増えた	1	2	3	4	5
(4)催しの内容が充実した	1	2	3	4	5
(5)住民への情報公開が進んだ	1	2	3	4	5
(6)会計が明瞭になった	1	2	3	4	5
(7)事務処理が簡単になった	1	2	3	4	5
(8)地域活動への協力者が増えた	1	2	3	4	5
(9)地域活動に対する住民の理解が深まった	1	2	3	4	5

市の地域に関する施策全般について、ご意見をお聞かせください

問 35. 市は、福岡市コミュニティ関連施策あり方検討委員会からの提言を踏まえ、平成 21 年度から、「コミュニティの自治の確立」「コミュニティと市の共働」に向け、次の取り組みを推進しています。これらの中で、特に取り組みが必要だと思うものはどれですか。(1)(2)のそれぞれの項目について、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

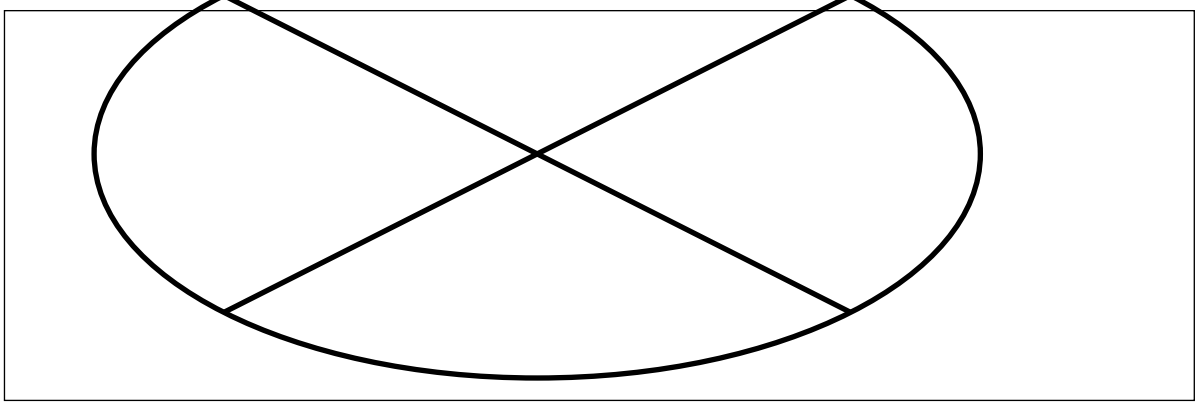
(1)「コミュニティの自治の確立」に向けた取り組み

1．市民への広報（コミュニティ通信、市政だよりでの広報など）
2．自治協議会等が行う広報活動の支援（広報紙作成講座の実施など）
3．市民向け講座の実施や市民への情報提供
4．自治協議会等の運営・活動に役立つ研修会等の開催（自治協議会サミット、事例発表会・研修会の開催など）
5．自治協議会等が行う意見交換・勉強会への協力
6．自治会・町内会加入の促進への協力

(2)「コミュニティと市の共働」に向けた取り組み

1．市職員の意識改革
2．コミュニティに関する施策の進め方の見直し（自治を尊重した施策への見直し）
3．市からコミュニティへの依頼等の見直し
4．「コミュニティの総合窓口」（地域支援課）の機能充実
5．校区担当職員による支援の充実
6．公民館による支援の充実
7．公民館と自治協議会等の連携の強化

問 36.「コミュニティの自治の確立」「コミュニティと市の共働」に向けた取り組み（問 35 参照）について、自由に意見を記入してください。また、これらに限らず、今後必要だと思う取り組みがありましたら、自由に記入してください。



問 36 の次　10 年後の 2025 年（平成 37 年）には、福岡市でも市民の４人に１人が 65 歳以上となる、いわゆる超高齢社会が到来することが予測されています。

超高齢社会では、高齢者等の見守りや生活支援などにおいて、地域の絆づくりが重要とも言われています。超高齢社会を目前に控え、これからの対応についてあなたはどのように考えますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．行政の支援や介護サービス、医療サービスの充実が必要である。
２．校区社協や民生委員による活動の充実が必要である。
３．自治協議会を中心に、様々な団体・機関が連携して支援活動を展開していく必要がある。
４．町内会単位で高齢者の見守り体制など構築していく必要がある。
５．企業やＮＰＯとの連携が必要である。
６．各個人が健康づくりなど努力すべきである。
７．その他（　　）

問 37. 市の地域に関する施策全般について、**今後必要だと思う取り組みや、**市や区役所に対するご意見やご要望などがありましたら、自由に記入してください。

お忙しい中、長時間にわたって調査にご協力いただき、たいへんありがとうございました。記入もれや記入間違いがないかご確認の上、同封の封筒にてご返送ください。

東区用

自治会・町内会アンケート調査票（案）

（ご記入にあたって）

１．使用する筆記用具は、ボールペン、鉛筆など何でも構いません。
２．質問は、全部で　　問あります。
３．「その他」を選んだ場合は、その内容を（　）内にできるだけ具体的に記入してください。
４．調査票は、記入後、添付の封筒（切手不要。本市が調査を委託している会社あて）に入れて、10月　　日（　）までに郵便ポストに投函してください。

小学校区についてお尋ねします

問１．貴自治会・町内会があるのは、どの校区ですか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．馬出	７．和白	13．若宮	19．香椎東	25．千早西
２．筥松	８．香住丘	14．美和台	20．奈多	26．松島
３．箱崎	９．千早	15．城浜	21．青葉	27．香陵
４．香椎	10．志賀島	16．和白東	22．香椎浜	28．三苫
５．多々良	11．勝馬	17．八田	23．香椎下原	29．照葉
６．名島	12．西戸崎	18．舞松原	24．東箱崎	

自治会・町内会の会長（代表者）についてお尋ねします

問２．会長は、どのような方法で選出していますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．互選
２．投票
３．輪番（当番）
４．選考委員会による選考
５．その他（　　）

問３．会長の任期は、１期あたり何年ですか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．１年
２．２年
３．３年
４．４年
５．５年以上

問４．会長に再任の制限はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、（　　）内に最長で何期まで同じ人が会長を務めることができるかを記入してください。

１．有　→　（　　期まで）
２．無

問５．会長に年齢による定年はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、（　　）内に定年の年齢を記入してください。

１．有　→　（　　歳まで）
２．無

問６．会長手当はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、（　）内に金額を記入してください。

１．有　→　年間（　　）万円
２．無

問５　会長手当（報酬的なもの）や活動費（交通費や通信費等の費用弁償的なもの）は支給されていますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、支給されている場合は、下段の（　　）内に金額を記入してください。

１．手当・活動費ともに支給されている。
２．活動費のみ支給されている。
３．手当のみ支給されている。
４．支給されていない。

会長手当　年間（　　）万円　　活動費　年間（　　）万円
※会長手当，活動費の区分がない場合はこちらに記入　→　年間（　　）万円

自治会・町内会の運営についてお尋ねします

問７．貴自治会・町内会に加入している世帯（加入世帯）、加入していない世帯（未加入世帯）はいくつありますか。また、そのうちマンションなどの集合住宅に入居している世帯はどのくらいですか。それぞれ、（　　）内に世帯数を記入してください。

・加入世帯　　（　　）世帯

そのうち、集合住宅（ﾜﾝﾙｰﾑﾀｲﾌﾟ）に入居している世帯　（　　）世帯程度
集合住宅（ﾌｧﾐﾘｰﾀｲﾌﾟ・賃貸）に入居している世帯　（　　）世帯程度
集合住宅（ﾌｧﾐﾘｰﾀｲﾌﾟ・分譲）に入居している世帯　（　　）世帯程度

・未加入世帯　　（　　）世帯

そのうち、集合住宅（ﾜﾝﾙｰﾑﾀｲﾌﾟ）に入居している世帯　（　　）世帯程度
集合住宅（ﾌｧﾐﾘｰﾀｲﾌﾟ・賃貸）に入居している世帯　（　　）世帯程度
集合住宅（ﾌｧﾐﾘｰﾀｲﾌﾟ・分譲）に入居している世帯　（　　）世帯程度

≪未加入世帯がある場合≫

問７－１．自治会・町内会に加入しない理由は何だと思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．隣近所とのつきあいがわずらわしい
２．自分に関係があると思っていない
３．役員になりたくない
４．会費を払いたくない
５．長く住む予定がない
６．単身である
７．活動や運営の状況を知らない
８．自治会・町内会が必要だと思っていない
９．マンションそのものが加入していない
10．その他（　　）

≪未加入世帯がある場合≫

問７－２．未加入世帯があることで、困っていることはありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．加入世帯の側で不公平感が生じている
２．活動への参加者が不足している
３．運営や活動を手伝う人が不足している
４．役員のなり手がない
５．地域の連帯感が薄れる
６．町内会費が不足し、活動費が十分にまかなえない
７　どんな人が住んでいるか分からない
８．地域のルールが守られない
９．その他（　　）
10．困っていることは特にない

問８．自治会・町内会への加入を促進するために、行っていることがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．転入者に加入の案内をしている
２．未加入世帯にチラシ（校区や町内で独自に作成したもの）を配布している
３．未加入世帯にチラシ（市と福岡市自治協議会等７区会長会が作成したもの）を配布している
４．未加入世帯を役員が戸別に訪問している
５．その他（　　）
６．行っていることは特にない

問９．貴自治会・町内会は、どのような住居に住む世帯で構成されていますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．一戸建てと集合住宅
２．集合住宅のみ
３．一戸建てのみ

≪問９で１、２を選んだ方へ≫

問９－１．特に集合住宅入居者を対象に、自治会・町内会加入や活動への参加を促進するために行っていることはありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．集合住宅内の掲示板にチラシやポスターを掲示している
２．集合住宅の管理会社やオーナー（所有者）と協議している
３．集合住宅の管理組合と協議している
４．新築時に、開発・分譲を行う事業者と協議している
５．新築時に、入居（予定）者向けの説明会を行っている
６．集合住宅向けに、別途、自治会・町内会費の額を定めている
７．その他（　　）
８．行っていることは特にない

≪問９で１、２を選んだ方へ≫

問９－２．自治会・町内会に１世帯も加入していない集合住宅はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．有　　２．無

問 10．１か月の自治会・町内会費は、１世帯当たりいくらですか。（　　）内に金額を記入してください。

月　（　　）円／１世帯

問 11．貴自治会・町内会の年間の予算額は、どのくらいですか。（　　）内に金額を記入してください。

年間（　　）万円程度

問 12. 次に挙げた会議の中に、貴自治会・町内会で行っているものはありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。また、１～３を選んだ場合は、（　　）内に開催回数を記入してください。

１．総会　→　年（　　）回程度
２．定例会（連絡調整や事業内容の検討などを行う定期的な会議）　→　年（　　）回程度
３．隣組長（班長）会　→　年（　　）回程度
４．催し等の実行委員会
５．分野別の部会（環境部会、防犯部会など）

問 13. 自治会・町内会の運営や活動について住民に知らせるために、行っていることはありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．広報紙を発行している
２．文書やチラシを作成し、配布・回覧している
３．掲示板に情報を掲示している
４．ホームページ（ブログ、フェイスブック等）を開設している
５．住民説明会などを行っている
６．その他（　　）
７．行っていることは特にない

≪問 13 で１～６を選んだ方へ≫

問 13－１．どのような事柄を知らせていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．催しの案内
２．事業計画
３．事業報告
４．予算書
５．決算書
６．総会の報告
７．定例会の報告
８．役員の紹介
９．自治会・町内会費の使途
10．自治会・町内会の活動目的
11．地域の目標像・将来像
12．地域の課題
13．その他（　　）

問 14. 規約を定めていますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．定めている
２．定めていない

自治会・町内会の活動についてお尋ねします

問 15. 次に挙げた活動の中に、自治会・町内会が主催者（または共催者）として行っているもの（自治協議会など校区単位で行っているものは除きます）はありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1．運動会（体育祭）
2．文化祭
3．敬老会
4．夏祭り
5．新春の集い
6．防犯パトロール
7．防災訓練
8．通学路の見守り
9．高齢者の見守り
10．資源物の回収
11．清掃活動
12．これらの活動は行っていない

問 16. 今後、どのような分野の活動に積極的に取り組みたいと考えていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1．子育て支援
2．青少年の健全育成
3．高齢者福祉
4．健康づくり
5．献血
6．人権
7．男女共同参画
8．スポーツ・レクリエーション
9．ごみ減量・リサイクル
10．環境美化
11．防災
12．防犯
13．交通安全
14．住民同士の交流
15．その他（　　）
16．特にない

問 16 の次. 自治会・町内会の活動に際して、企業やＮＰＯと連携した事業や取り組みはありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、具体的な内容について記入してください。

1．有　→
2．無

（具体的な事業・取り組みの内容）

問 17. 自治会・町内会の運営や活動にあたって、どのようなことが課題だと思いますか。次の(1)～(3)のそれぞれの項目について、当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

(1) 人材

1．役員のなり手がない
2．運営を手伝う人がいない
3．事務処理ができる人がいない
4．その他（　　）
5．特に課題はない

≪(1)で１～４を選んだ方へ≫

(1)－１．これらの課題を解決するために行っている取り組みがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1．活動を行う曜日や時間を工夫する
2．負担の少ない活動方法を工夫する
3．個別に声かけを行う
4．町内で活動する他の団体（子ども会、老人クラブなど）と連携する
5．役員を輪番制にする
6．役員手当を見直す
7．その他（　　）
8．行っていることは特にない

(2) 住民

1．活動への参加者が少ない
2．住民の十分な理解が得られない
3．新旧の住民の交流が図りにくい
4．マンションなどの集合住宅との交流が図りにくい
5．自治会・町内会に加入していない世帯が多い
6．その他（　　）
7．特に課題はない

≪(2)で１～６を選んだ方へ≫

(2)－１．これらの課題を解決するために行っている取り組みがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1．積極的に広報する
2．活動を行う曜日や時間を工夫する
3．住民が楽しめる催しを行う
4．地域の課題に対応した活動を行う
5．住民のニーズを踏まえた活動を行う
6．個別に声かけを行う
7．町内で活動する他の団体（子ども会、老人クラブなど）と連携する
8．集合住宅の管理会社や管理組合と連携する
9．その他（　　）
10．行っていることは特にない

(3) 運営

1．会合や催しを行える場所が少ない
2．予算が足りない
3．ノウハウがない
4．事務処理の体制が十分でない
5．町内で活動している団体間の連携が難しい
6．自治協議会、自治連合会など、校区単位の組織との連携が難しい
7．その他（　　）
8．特に課題はない

≪(3)で１～７を選んだ方へ≫

(3)－１．これらの課題を解決するために行っている取り組みがありますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1．役員会や定例会などで話し合う
2．他の地域の取り組みを把握する
3．その他（　　）
4．行っていることは特にない

問 18. 自治会・町内会の運営や活動を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1．住民への積極的な情報公開
2．住民に対する活動のＰＲ
3．人材の育成・確保
4．会計処理の透明性の確保
5．住民の意見・ニーズの把握
6．住民の自治会・町内会への加入促進
7．予算の確保
8．自治協議会との連携
9．その他（　　）

問 18 の次. 近年、東日本大震災の影響などもあり、地域の絆や共助に関する市民の関心や、地域コミュニティに対する期待は高まってきていますが、あなたの町内で、東日本大震災以降、新たに開始した共助の取り組み（住民同士の「支え合い」や「助け合い」の活動など）はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、具体的な内容について記入してください。

1．有　→
2．無

（具体的な取り組み内容）

問 18 の次　福岡市では，自治会・町内会を支援する取り組みとして、平成２６年度、「地域デビュー応援事業」を実施し、補助金の交付を希望する自治会・町内会を募集しています。

本事業は、町内の幅広い世代の住民が気軽に楽しく参加できる住民同士の交流事業で、企画・準備・実施等に広く住民のボランティアを募るなど、多くの住民の参画を得ながら実施する新規事業またはリニューアル事業に対して、市が一定の割合の補助金（初年度は新規：上限 10 万円、リニューアル上限 5 万円）を交付するものです。

あなたの町内では、今年度、本事業を実施（活用）する予定はありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．今年度実施予定（または済）であり，既に申請済である。
２．今年度実施予定であるが，まだ申請していない。
３．今年度の実施について，現在検討中またはこれから検討したい。
４．今年度は実施できないが，来年度以降も募集するのであれば，これから検討したい。
５．実施の予定はない。

＜前問で（５）を選んだ方＞

更問　その理由は何ですか？次の中からあなたの考えに近いものを１つ選び，番号に○をつけてください。

１既に住民同士の交流事業は実施しており，これ以上増やす（またはリニューアルする）必要はないから。
２．役員は皆忙しく，新しい事業に着手する余裕がないから。
３．全額補助ではなく，一部手出しが必要だから。（町内会の財源に余裕がないから。）
４．手続きが面倒だから。
５．企画しても参加者は少ないと思われるから。
６．住民同士の交流事業の必要性を感じないから。
７．その他（　　）

集会施設についてお尋ねします

問 19.　貴自治会・町内会は、集会施設を持っていますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．自治会・町内会で所有している
２．自治会・町内会で借り上げている（無償の場合も含む）
３．その他（　　）
４．持っていない　→　**問 20 へ**

≪問 19 で１～３を選んだ方へ≫

問 19－1. 貴自治会・町内会の集会施設についてお尋ねします。

⑴ 建物を建設（または借り上げなどを開始）したのは、いつですか。

昭和・平成（　　）年ごろ

⑵ 延べ床面積は、どのくらいですか。

（　　）平方メートル

⑶ 次の設備がありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。また、１を選んだ場合は、（　）内の該当する方に○をつけてください。

・トイレ　　１．有 ⟶（１．集会施設専用　２．他との共用）
　　２．無

・給湯室や台所　　１．有 ⟶（１．集会施設専用　２．他との共用）
　　２．無

⑷ だれが管理していますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．自治会・町内会が直接管理している（事業者等に委託している場合も含む）
２．単独の自治会・町内会で運営委員会等を組織し、管理している
３．複数の自治会・町内会で運営委員会等を組織し、管理している
４．その他（　　）

⑸ 月に何回程度、利用されていますか。

月（　　）回程度

⑹ 主に、どんな活動に利用されていますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．自治会・町内会の会合
２．子育てサロン、子ども会など、子どもに関する活動
３．ふれあいサロン、老人クラブなど、高齢者に関する活動
４．趣味のサークル活動
５．公民館の事業
６．その他（　　）

問 20. 今後、集会施設の建設や建て替え、借り上げを行う計画がありますか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．おおむね３年以内に建設や建て替え、借り上げを行う計画がある
２．おおむね５年以内に建設や建て替え、借り上げを行う計画がある
３．建設や建て替え、借り上げを行う計画はあるが、５年以内ではない
４．建設や建て替え、借り上げを行う計画はない

≪問 20 で１～３を選んだ方へ≫

問 20－1. その計画は、具体的にどのような内容ですか。当てはまるものを１つ選び、番号に○をつけてください。

１．新築(購入)
２．増改築・修繕
３．借り上げ(年間を通じて有料で借上げる)
４．借り上げ(必要に応じて日あるいは時間単位で会議室を有料で借上げる)

市の施策についてお尋ねします

問 21. 行政は、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。当てはまるものを３つまで選び、番号に○をつけてください。

１．活動費の助成
２．活動の場の提供
３．人材の育成
４．情報の提供
５．運営や活動に関する助言
６．地域活動に関する市民の意識啓発
７．住民が地域活動に参加するきっかけづくり
８．その他（　　）
９．特に支援は必要ない

問 22. その他、地域活動を行う上で日ごろ感じておられることや、運営・活動にあたって工夫しておられること（住民の理解促進、活動への参加促進、予算の確保など）がありましたら、自由に記入してください。

問 22 の次　10 年後の 2025 年（平成 37 年）には、 福岡市でも市民の４人に１人が 65 歳以上となる、いわゆる超高齢社会が到来することが予測されています。
超高齢社会では、高齢者等の見守りや生活支援などにおいて、地域の絆づくりが重要とも言われています。超高齢社会を目前に控え、これからの対応について、あなたはどのように考えますか。当てはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

１．行政の支援や介護サービス、医療サービスの充実が必要である。
２．校区社協や民生委員による活動の充実が必要である。
３．自治協議会を中心に、様々な団体・機関が連携して支援活動を展開していく必要がある。
４．町内会単位で高齢者の見守り体制など構築していく必要がある。
５．企業やＮＰＯとの連携が必要である。
６．各個人が健康づくりなど努力すべきである。
７．その他（　　）

会長ご自身についてお尋ねします

問 23. 差し支えがなければ、あなたの年齢を教えてください。（平成 23 年３月 31 日現在）

満（　　）歳

問 24. 差し支えがなければ、あなたの性別を教えてください。

１．男
２．女

問 25. あなたは、自治会・町内会の会長になって、今年で何年目ですか。

今年で（　　）年目

問 26. あなたは、自治会・町内会の活動に１か月あたり何日程度従事していますか。

１か月当たり（　　）日程度

お忙しい中、長時間にわたって調査にご協力いただき、たいへんありがとうございました。記入もれや記入間違いがないかご確認の上、同封の封筒にてご返送ください。